

## 令和 2 年度 愛媛県がん診療連携協議会

### 役員会・専門部会報告会

#### ◇ 日 時 ◇

令和 2 年 8 月 8 日 (土)

役員会 13:00 ~ 13:30

専門部会報告会 13:30 ~ 14:30

#### ◇ 開催形式 WEB 会議◇

四国がんセンターカンファレンス室からの発信

#### ◇ 議 題 ◇

1. 令和 2 年度役員 自己紹介
2. 協議事項について
  - 1) 次年度スケジュール案
  - 2) ホームページの改訂について
  - 3) 組織図 (改定案) について
  - 4) 愛媛県より
  - 5) 各専門部会からの報告
    1. PDCA 部会
    2. がん地域連携専門部会
    3. 緩和ケア専門部会
    4. がん相談支援専門部会
    5. がん登録専門部会
    6. がんの集学的治療専門部会
    7. がん看護専門部会

#### ◇ 添付資料 ◇

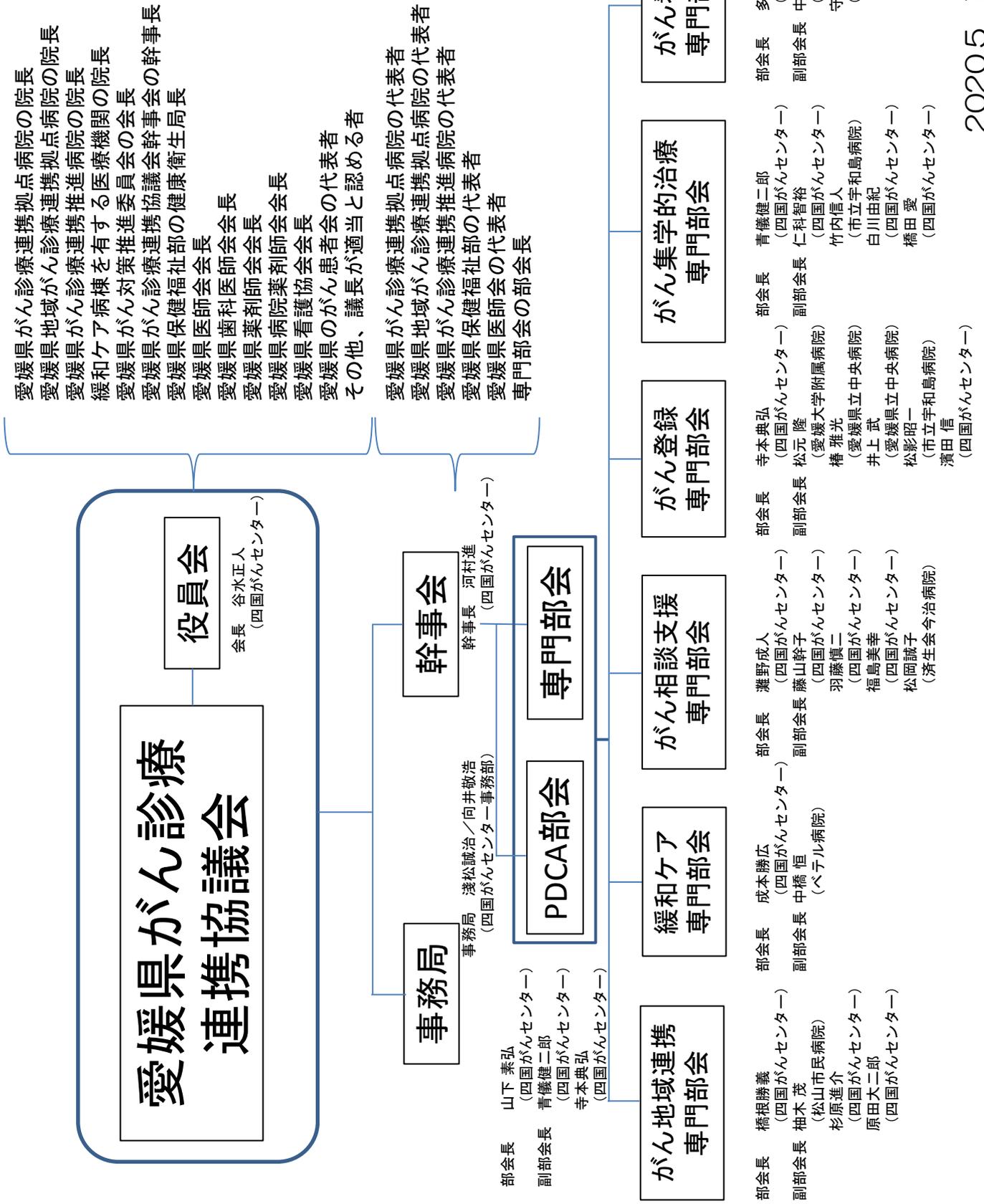
- 1) 役員会名簿・出席票 (資料 1) . . . . . 2
- 2) 愛媛県がん診療連携協議会組織図 改訂版 (資料 2) . . . . . 4
- 3) 2020 年度年間スケジュール・2021 年度年間スケジュール案 (資料 3) . . . . . 5
- 4) 令和元年度役員会議事録 (R1/8/3 四国がんセンターにて開催) (資料 4) . . . . . 7
- 5) 令和 2 年度第 1 回幹事会議事録 (R2/4/23 四国がんセンターにて開催) (資料 5) . . 11
- 6) 発表資料 . . . . . 19

## 令和2年度 役員会名簿

No	施設名	職名	氏名(敬称略)
1	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	院長	谷水 正人
2	愛媛県立中央病院	院長	菅 政治
3	愛媛大学医学部附属病院	院長	三浦 裕正
4	社会福祉法人恩賜財団 済生会今治病院	院長	松野 剛
5	市立宇和島病院	院長	梶原 伸介
6	医療法人 住友別子病院	院長	鈴木 誠祐
7	日本赤十字社 松山赤十字病院	院長	横田 英介
8	一般財団法人永頼会 松山市民病院	院長	柚木 茂
9	社会福祉法人恩賜財団 済生会西条病院	院長	岡田 眞一
10	独立行政法人労働者健康安全機構 愛媛労災病院	院長	宮内 文久
11	一般財団法人積善会 十全総合病院	院長	中村 寿
12	公立学校共済組合 四国中央病院	院長	北川 哲也
13	社会医療法人石川記念会 HITO病院	院長	相引 眞幸
14	済生会松山病院	院長	宮岡 弘明
15	市立八幡浜総合病院	院長	大蔵 隆文
16	医療法人聖愛会 松山ベテル病院	院長	中橋 恒
17	医療法人愛寿会 西条愛寿会病院	院長	内田 伸
18	愛媛県がん診療連携協議会幹事会	幹事長	河村 進
19	愛媛県保健福祉部	医療政策監	河野 英明
20	一般社団法人愛媛県医師会	会長	村上 博
21	一般社団法人愛媛県歯科医師会	会長	是澤 恵三
25	一般社団法人愛媛県薬剤師会	会長	古川 清
22	愛媛県病院薬剤師会	会長	浅川 隆重
23	公益社団法人愛媛県看護協会	会長	小椋 史香
24	愛媛県のがん患者会 NPO法人 愛媛がんサポート おれんじの会	代表者理事長	松本 陽子

## 令和2年度 役員会・専門部会報告会出席者名簿

No	施設名	職名	氏名(敬称略)	代理出席	出欠
1	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	院長	谷水 正人		出席
2	愛媛県立中央病院	院長	菅 政治		出席
3	愛媛大学医学部附属病院	院長	三浦 裕正	薬師神 芳洋	出席
4	社会福祉法人恩賜財団 済生会今治病院	院長	松野 剛		出席
5	市立宇和島病院	院長	梶原 伸介		出席
6	医療法人 住友別子病院	院長	鈴木 誠祐		出席
7	日本赤十字社 松山赤十字病院	院長	横田 英介		欠席
8	一般財団法人永頼会 松山市民病院	院長	柚木 茂		出席
9	社会福祉法人恩賜財団 済生会西条病院	院長	岡田 眞一		出席
10	独立行政法人労働者健康安全機構 愛媛労災病院	院長	宮内 文久		出席
11	一般財団法人積善会 十全総合病院	院長	中村 寿		出席
12	公立学校共済組合 四国中央病院	院長	北川 哲也		出席
13	社会医療法人石川記念会 HITO病院	院長	相引 眞幸		出席
14	済生会松山病院	院長	宮岡 弘明		出席
15	市立八幡浜総合病院	院長	大蔵 隆文		出席
16	医療法人聖愛会 松山ベテル病院	院長	中橋 恒		出席
17	医療法人愛寿会 西条愛寿会病院	院長	内田 伸		出席
18	愛媛県がん診療連携協議会幹事会	幹事長	河村 進		出席
19	愛媛県保健福祉部	医療政策監	河野 英明		出席
20	愛媛県保健福祉部	健康政策係長	白石 拓也		出席
21	一般社団法人愛媛県医師会	会長	村上 博		欠席
22	一般社団法人愛媛県歯科医師会	会長	是澤 恵三		欠席
23	一般社団法人愛媛県薬剤師会	会長	古川 清		出席
24	愛媛県病院薬剤師会	会長	浅川 隆重		出席
25	公益社団法人愛媛県看護協会	会長	小椋 史香		欠席
26	愛媛県のがん患者会 NPO法人 愛媛がんサポート おれんじの会	代表者理事長	松本 陽子		出席
27	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	副院長・PDCA部会長	山下 素弘		出席
28	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	薬剤部長	小池 恭正		出席
29	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	看護部長・がん看護専門部会長	多田 清美		出席
30	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	事務部長	浅松 誠治		出席
31	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	がん地域連携専門部会長	橋根 勝議		出席
32	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	緩和ケア専門部会長	成木 勝広		出席
33	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	がん相談支援専門部会長	灘野 成人		出席
34	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	がん登録専門部会長	寺本 典弘		出席
35	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	がんの集学的治療専門部会長	青儀 健二郎		出席



2020.5 改訂案

2020年度 年間スケジュール

日時	開催会	内容	場所
4月23日(木) 18:30～20:00	幹事会	(協議事項) ・令和2年度幹事会会員の紹介 ・今年度役員会、専門部会の会員について ・年間スケジュールについて ・各専門部会より連絡事項について ・その他	四国がんセンター
8月8日(土) 10:30～11:30	役員会	(決議事項) ・今年度役員、幹事及び専門部会員について ・年間スケジュールについて ・その他幹事会で協議された事項	四国がんセンター
8月8日(土) 13:00～14:25	専門部会	(連絡・協議事項) ・各専門部会の年次活動方針及び企画について周知および活動に関する審議 ・その他	四国がんセンター
8月8日(土) 14:30～15:15	報告会 (役員会・専門部会報告)	・役員会および各専門部会決定事項、活動に関する事項の報告 ・その他連絡事項	四国がんセンター
10月8日(木) 18:30～20:00	幹事会	(協議事項) ・各専門部会の活動について ・次年度計画案(各会開催日の決定) ・その他	四国がんセンター
12月5日(土) 13:00～14:25	専門部会	(連絡・協議事項) ・各専門部会の活動に関する審議 ・次年度計画案について ・その他	四国がんセンター
12月5日(土) 14:30～15:15	報告会(専門部会報告)	・各専門部会活動に関する事項の報告 ・その他連絡事項	四国がんセンター

2021年度 がん診療連携協議会年間スケジュール（案）

項 目	日 程
第17回 日本臨床腫瘍学会学術集会	2021 年 2 月 18 日（木）－ 20 日（土）
幹事会候補日	2021 年 4 月 8 日（木）
	2021 年 4 月 15 日（木）
	2021 年 4 月 22 日（木） ◎
第26回 日本緩和医療学会学術大会	2021 年 6 月 18 日（金）－ 19 日（土）
役員会、専門部会、報告会候補日	2021 年 7 月 24 日（土）
	2021 年 7 月 31 日（土）
	2021 年 8 月 7 日（土） 7月23日(金)～8月8日(日) 東京オリンピック期間中 ◎
第80回 日本癌学会学術総会	2021 年 9 月 30 日（木）－ 10 月 2 日（土）
幹事会候補日	2021 年 10 月 7 日（木） ◎
	2021 年 10 月 14 日（木）
専門部会、報告会候補日	2021 年 11 月 27 日（土）
	2021 年 12 月 4 日（土） ◎

## 令和元年度 愛媛県がん診療連携協議会 第1回 役員会 議事録

開催日時：令和元年8月3日(土) 10:30～12:30

開催場所：四国がんセンター地域医療連携研修センター研修室①

司会進行：協議会幹事長 四国がんセンター 河村 進

出席者：別紙資料1「役員会名簿」

### 議題

#### 1. 開会の挨拶（協議会会長）

役員の皆様におかれましては、大変暑い中、お忙しいところ土曜日にもかかわらずご参加いただき本当に有り難うございます。愛媛県のがん医療に何らかの形で直接関わっておられる皆様が、集まって情報共有等認識を共有して頂くことは大変大切であることと思っております。この会が実り多き会になることを願っておりますので、活発な議論をどうぞよろしくお願い申し上げます。

#### 2. 令和元年度幹事会委員自己紹介（資料1 P.2参照）

役員会会員変更 HITO 病院院長 石川賀代先生より相引眞幸先生

四国中央病院 鎌田正晴先生より北川哲也先生

一般社団法人愛媛県薬剤師会会長 宮内芳郎先生より古川清先生

愛媛県保健福祉部 新山徹二先生より河野英明先生

専門部会 がん看護専門部会長 吉田真弓看護部長より多田清美看護部長 へ交代

新規部会 PDCA 部会

#### 3. 幹事会（4/25）で協議された事項について

##### 1) 拠点病院の要件と更新について

薬剤師の医療安全管理者としての講習が受講できる場所や、受講者多数により受講ができなかった等の場合の救済措置があるのか、いまのところ回答がない。調べてわかるところは情報提供する。

##### 2) 各部会からの報告

###### ①PDCA 部会

6部会を横断的に活動する。7/16(火) 東京大学の谷崎先生を講師としてお招きし、大腸がんのデータを用いて実地訓練を兼ねた研修会を、第1回部会として開催した。今回の研修の内容を例にしながら、参加された各先生方、

各施設で、持ち帰って具体的な活動に結び付けて頂くとともに、各専門部会での取り組み、実施状況について 12/7 の協議会開催時に報告をお願いします。

Q1.実際に現場のドクターに内容をフィードバックするのは若干難しいところがある。

A1.具体的には都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会での発表内容にあるとおり、PDCA 活動には相互訪問調査なども含まれる。だんだんと普及していけば良いのではないかと。

A2.データの取り扱いについては、使い方についてなどの情報提供はさせて頂く。まずは取り組みそうな内容のものから取り組んで頂ければよいのではないかと。

## ②地域連携専門部会

地域連携パスがなかなか普及しないことの検証としてアンケートを行った。ICT を利用した地域連携システムの構築について、今後は地域連携専門部会で準備をすすめていく。

## ③緩和ケア専門部会

ACP について、昨年末には「人生会議」という愛称が決定したところであるが、これが形骸化するのではなく生きたものになっていくよう、協議会としても取り組みをお願いしたい。また患者団体からは、当事者の声も入れて頂く機会をいただくと大変ありがたい。ACP の相談員向け研修会が愛媛県医師会で 2020/1/13 に開催予定である。ACP も PEACE と同じように受講者には修了証が発行され、そのリストが作成されるなどしている。今後は、それが活用されていくと思われる。

## ④がん相談支援専門部会

4/25 の議事録に同じ。

## ⑤がん登録専門部会

「院内がん登録」の冊子が完成し送付されている。また、「がんサポートサイトえひめ」のリーフレットが完成したので、こちらも配布する。本日お手元にお配りしている。午後の総合報告会においても、配布をおこなう。

## ⑥がん集学的治療専門部会

4/25 の議事録に同じ。

## ⑦がん看護専門部会

がん看護実践能力向上研修は定員 14 名のところ応募が 6 名で 50%に満たないため、今後どのようにしていくか検討が必要となっている。また、市立宇和島病院よりスポット研修の依頼があり、コミュニケーション研修を 11/23 に開催予定である。

3) 協議会年間スケジュールについて

今年度以降の開催協議会について

9/24 (火) 第1回がん看護専門部会

10/10 (木) 第2回幹事会

12/7 (土) 第2回専門部会及び報告会

2020年の協議会およびPEACEのスケジュールについて、次回幹事会で決定しますので、資料2のP.12、P.13に示しております日程案を持ち帰り頂き、次回10月10日の幹事会までに各施設でご検討をお願い致します。

4. 第12回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会(7/10 国立がん研究センターにて開催) 議事について

URL [https://ganjoho.jp/med\\_pro/liaison\\_council/lc01/20190710.html](https://ganjoho.jp/med_pro/liaison_council/lc01/20190710.html)

令和元年7月1日時点 がん診療連携拠点病院 393 施設、地域がん診療病院 43 施設の指定状況である。

1) 小児がん診療について

小児がん拠点病院の指定要件が見直された。小児がん拠点病院は平成31年4月現在全国で15カ所、中四国では広島大学病院が指定されている。

小児がん連携病院に求められる要件は決まっているが、連携病院は未だ指定されていない。HPでは小児がん診療施設として案内されている施設が中四国では18施設、県内では愛媛大学医学部附属病院、県立中央病院、松山赤十字病院の3施設が挙げられている。

2) がんゲノム医療について

平成31年4月現在 がんゲノム医療中核拠点病院が11施設、がんゲノム医療連携病院が156施設指定されている。新たな指定については、がんゲノム医療拠点病院の指定が全国で30施設を予定されている。連携体制におけるそれぞれの役割については資料3のP18を参照のこと。7月24日に募集要項が決まり現在申請受付中である。9月中に指定が決定される。

3) 各専門部会について

①臨床研究部会は廃止。代替案としてがん薬物療法部会の提案がなされたが、今回は承認とならなかった。がん診療連携協議会の役割としては「均てん化」が重要であるため、提案の部会の意義は認めるがゴールが明確でない。臨床研究部会と同じ結果にならないために、ゴールを明確にして計画を見直すことが必要とされた。

②がん登録部会 実務者認定は拠点病院の指定要件で初級認定者、中級認定者の在籍が必須。5年毎の更新があるので怠りなく更新を受けて頂くように留意して頂きたい。今年度のスケジュールについてはP29を参照してください。2010年～

2011年の5年相対生存率集計結果は66.4%。2016年～2017年の小児がん（AYA世代）発生件数は0～15歳未満で6,667人、15歳～40歳未満で76,822人。愛媛県は1年間で0～15歳未満が20名、15歳～40歳未満が200名ぐらいの登録者数になっている。今年のデータは現在収集中である。

厚生労働省研究班のQuality Indicatorの研究は今年度中に一次結果が出る予定。

③がん相談支援部会 PDCAサイクルの確保に関する検討において、がん相談支援センターにおけるPDCA実施状況チェックリストの指標骨子によると、病院管理者およびがん相談支援センター管理者が、がん相談支援センターに対する支援をしっかりとこなしているかという内容が点数で評価されている。部会事後のアンケート結果では、病院管理者やがん相談支援センター管理者から、相談支援の件数のみではなく質の向上を目指したサポートが得られているかを評価していくとしている。地域相談支援フォーラムを全国で開催予定。愛媛県でも2020年3月7日（土）に愛媛県立中央病院で開催されるので、支援をお願い致します。

④緩和ケア部会 ACPについて部会の中で検討された内容についての報告があった。また、地域における緩和ケアの課題について大きく取り上げられているが、愛媛県の場合は、中橋先生を中心に「在宅緩和ケア推進モデル事業」が進行している。

⑤愛媛県がん診療連携協議会 愛媛県の協議会活動について紹介して頂きたいという依頼があり、四国がんセンターから橋根統括診療部長が報告を行った。愛媛県の協議会は活発に活動を行えているので、全国的にも愛媛県のような活動が行えるようになってほしいという意図から、今回、愛媛県を取り上げて頂いている。会場からもいろいろと質問を頂いた。

愛媛県は、県からの協力も得られやすく、部会内の拠点病院・推進病院同士でも連携がスムーズで、活発な活動が行えている。

⑥秋田県の取り組みについての報告があった。

## 5. ICTを利用した地域医療ネットワークシステムについて

①市立宇和島病院導入中のシステムについての報告があった。

②四国がんセンター導入予定のシステムについての報告があった。

## 6. 閉会

令和2年度 愛媛県がん診療連携協議会 第1回 幹事会  
議事録

開催日時：令和2年4月23日（木） 18:00～19:30（WEB会議）

発信：四国がんセンター地域医療連携研修センター研修室①

司会進行：四国がんセンター

出席者

書記：社会医療法人石川記念会 HITO 病院

議題

開会の挨拶（谷水協議会会長）

今回は新型コロナウイルスの蔓延阻止という意味でWEB会議開催となりました。今後のことを考えると新しい会議の形態として一足飛びに必要な会議形態が実現されるということになったという風に認識できます。新しい形で対応できるようにこれから体制を整えていきたいと思っております。

1. 令和2年度幹事会 自己紹介・名簿確認（資料1）

自己紹介 WEB 開催の為割愛

20190803 役員会議事録（資料2）

20191010 幹事会議事録（資料3）

2. 協議会活動 2020年度年間スケジュールと 2021年度年間スケジュール案（資料4）

令和2年8月8日の役員会、専門部会の予定だがWEB会議にて開催予定。

それまでにそれぞれの専門部会内でWEB会議を開催し検討をしてもらう。当日は報告会の予定。連絡は後日。10月の幹事会、12月の専門部会については現段階で予測不能のため詳細不明

愛媛大学 薬師神先生より8月の第1週内科学会開催予定 8/7.8.9 8/8 土曜 報告会と重なります。まだ中止のアナウンスが無いので参考まで。

2021年度の年間スケジュール（案）について

最終決定は今年度の10月の幹事会

問題点は愛媛の外科会との調整 7月31日で依頼、役員会については8月7日

幹事会は10月7日木曜日第1候補。専門部会、報告会については12月4日土曜日第1候補。

### 3. 報告事項

#### 1) 拠点病院（令和2年4月1日時点）（資料5）

令和2年4月1日付 全国のがん診療連携拠点病院の指定状況はがん診療連携拠点病院402か所、地域がん診療病院45か所となっている。これをみると地域がん診療拠点病院というのは3段階に分かれているというのが今回の特徴である。前回までは2つであったが特例型という拠点病院が別に指定されている。これは拠点病院の満たす機能によってそのランク付けがされた。他のところについては大きな変化はないが、地域がん診療病院の数が増えている。愛媛県において拠点病院等に変更はなし。満たす機能によって拠点病院の指定の細分化を行うという国としての方針がすすめられているというように感じ取れる。

新しくがん診療連携拠点病院のあり方に関して検討する会議がスタートする。題名はがん診療連携拠点病院等の実態把握とがん医療提供体制における均てん化と集約に関する研究。会長の谷水が参加。拠点病院の要件が厳しく、実態にそぐわない部分については愛媛県の協議会の意見を届けていきたい。

#### 2) 愛媛県健康増進課（資料6）

保健福祉部健康衛星局健康増進課課長 菅様

代理 白石様より

若年がん患者の在宅療養支援事業の概要について

今年度令和2年4月1日より施行、愛媛県内に住所を有する20歳以上40歳未満の末期のがん患者が対象。介護保険の対象外となる為、在宅で療養することが資金面において困難である。支援を行政より行う。

事業の実施主体は市町、県が市町に対し、補助金を交付。令和2年度は松山市、宇和島市、八幡浜市、西予市、久万高原町、松前町、鬼北町が実施予定。3年度は全市町。サービスについては介護サービスを利用。利用料金の9割は行政が負担。サービスの上限6万円、自己負担額6千円。

事業のイメージは資料イメージ図参照

患者にこのようなサービスがあるということを知ってもらうことが重要。リーフレットを5月中に作成中。相談支援センターに配布し、各病院でも対象患者に制度の説明をお願い致します。

#### 3) PDCA 部会（資料7）

具体的な臨床指標を共有し診療体制の充実を図る。臨床指標は東京大学水流研究室で行っているがん診療体制における質評価指標、国立がんセンター東研究所：がん登録を用いる質評価指標等を用いる。目標は県独自もしくは施設独自の臨床指標を設定する活動を行う。行われていなかった施設間の相互評価を簡易な形でも行っていく。また先進な

PDCA 活動を行っている地方からの講師を招き、情報共有を行う。

昨年末に行った東京大学の質評価指標の集計結果資料を各施設に配布。臨床指標を用いて改善ツールを準備。それを用いて部会活動を行っていく。連携病院全体で改善ツールをもっと幅広い分野で共有したい。改善ツールを共同購入してループできる環境を整えていく。

#### 4) がん地域連携専門部会（資料 8）

##### 今年の活動報告

がん地域連携パスのアンケート結果報告（患者用）資料参照

アンケート回収率 65%

がん地域連携パスのアンケート結果報告（医療機関用・患者用）から出てきた課題としては認知度、実用性の低さ、説明方法、運用方法に検討必要。

医療機関からは報告書の扱いについて不便さを感じる。患者への指導方法、説明方法の工夫が必要。連携の推進にむけ、がん地域連携パス専門部会が中心となりクリティカルパスの運用に取り組んでいく。

##### 地域連携室の取り組み報告

四国がんセンターより報告、今回は愛媛大学医学部附属病院と松山赤十字病院

##### 地域医療連携ネットワークシステムについて各施設からの概要報告

現状は各施設で推し進める。ネットワークは愛媛県医師会が既に整備している回線を利用。当面統一化は難しい。基本的に普及活動やアフターフォローは各病院で、事務局は連携システムの窓口になる予定はなし。専門部会の場でシステム担当者間の情報共有を行う。

##### 今年度の活動予定

地域医療連携ネットワークシステムの推進

各病院でネットワークシステムの普及に努め、部会の立ち位置としてはその状況の把握に努める。連携パスの使用推進、かかりつけ医の促進。事務局の設置、全体の統一化を図る。

県医師会の連携ネットワークシステムの説明会を令和 2 年 2 月 22 日の予定であったが延期。予定を立てる事が出来ない状況。病院間の連携は取れているが開業医の電子カルテも進んできている。画像の転送もおこなうことができる。病診連携室サーバーに接続できるようにお願いしたい。

## 5) 緩和ケア専門部会（資料 9）

緩和ケア専門部会 成本部会長

PEACE の研修会の開催について

厚生労働省健康局より

コロナウイルスの関係で研修会が延期、又は中止となっている。拠点病院の要件である研修会の開催については事情を考慮して判断することとなっている。

愛媛県の現状

3月～6月開催延期 7月～8月開催分についてはまだ検討に至っていない。

開催延期とはなっているが実際には中止とならざるを得ない。

愛媛大学や県立中央病院では院内の参加者が 9 割。加算の関係もあるので実施する可能性もあり。

## 報告事項

緩和ケア専門部会議事録参照

緩和ケア専門部会としても PDCA 活動に参加。

グループワークを行い実際の活動状況や問題点について討議を行った。

グループワークの内容については資料を参照。

各施設の活動計画目標を立て活動を行う。

7月専門部会で中間報告を行いグループワーク、情報共有を図る。

12月専門部会にて活動発表を行う

## 愛媛大学より

現実的に PEACE 研修会はできないであろう。厚労省からの通知も判断しかねる、配慮するがまだ決定ではない。各拠点病院も更新にかかることなので簡単に中止には踏み切れない。愛媛県の会議にて声明を発表する。拠点病院全体で交渉するとしたほうが中止の決定がしやすいのではないか。

研修を受ける側の配慮も必要になってくる。Eラーニングを受けることにより資格の延長ができることのアナウンスをするべきである。

がん治療認定医の更新が緩和ケア研修を受けられないことを認定機構が配慮してくれるのか？

Eラーニングの有効期間の延長するようになっている。

現在のところ、Eラーニング修了書の有効期間は 2 年となっている。それを延長するかどうかの決定は、緩和医療学会や厚生労働省からは公表されていない。

認定の件については個別の学会で議論をしていただかないと緩和医療学会としては決定できない。

谷水協議会会長より

愛媛県がん診療連携協議会の決定事項として、今年は中止を決めたいと県を通して厚労省に交渉する。愛媛県の協議会の総意として中止の声明を挙げます。

## 6) がん相談支援専門部会（資料 10）

### ①がん相談支援専門部会議事録参照

報告事項

各ワーキンググループより報告

災害時の連絡シュミレーションを行った。

がんサポートサイトえひめの広報と活用について意見交換

出張相談を令和元年 11 月 16 日 17 日開催

チェックリストワーキングより、PDCA サイクルを回し、チェックリストを作成し業務内容のチェックを行っている。

### ②今年度の予定

3 月 7 日予定のフォーラムは中止。今年度後半で開催したい。

6 月の相談員の研修会も延期、現状では開催未定。QA 研修を 11 月 14 日に実施予定。

11 月 8 日愛媛県立図書館との共同企画として図書館での出張相談。

令和 3 年 3 月新居浜市の共催イベントでの出張相談。

### ③災害時のがん患者の受け入れ態勢調査を 11 月に行い、連絡網を作成した。

コロナウイルス感染拡大にともない、相談部会内での情報共有のため、連絡網の再確認と新しい調査票を作成した。相談員の中だけの情報共有なので全体を公表する予定はなし。各病院の相談員が情報共有しているので、聞けば他院の情報を得ることができる。

## 7) がん登録専門部会（資料 11）

「がん登録で見る愛媛のがん診療」冊子完成いたしました。

多めにほしい方はお申し出ください。

報告事項

がん登録専門部会議事録参照

全国がん登録の届出状況。概ね去年と変わりなし。

全国がん登録研修会

令和元年 9 月 2 回開催。本年度もコロナの状況をみつつ、開催を検討する予定である。

ファシリテータのご協力お願い致します。

5 大がん登録講座はWEB開催を視野に入れている。

今年の 3 月 5 月予定であった実務者研修会は中止。今後の開催については検討中。毎年 6 月に行っている日本がん登録協議会の学術集会で愛媛県の院内がん登録の研修会を全国のモデルとして発表する予定であったが WEB 開催となった。

提案事項として実務者の名簿作成したい。研修等で利用し、各病院のがん登録の状況を把握するのに使用することに承認をお願いします。

各病院の管理者にあたっては、院内がん登録の増加を目標にあげて登録士を圧迫する、あるいは鼓舞することはお避け下さい。

#### がんサポートサイトえひめ

病気を知る 5大がん、AYA世代、原発不明がん 公開済

あなたをささえる 暮らしを支える、相談支援等 公開済

広報 全国がん登録研修会 リーフレット

#### 今後の予定

2019年施設データ 4月公開済み

全件版 夏ごろ公開を目指す。

臓器充実をはかる

病気を知る 子宮頸部：愛大 原稿受領済み添削中 前立腺：愛大依頼済 膵臓：日赤  
東予の病院：臓器の担当を募集

内容検討、がん患者に対するコロナ情報を更新

#### 愛媛県がん診療連携協議会のホームページについて

サーバーの有効期限が今年の10月に期限が切れる。新しいサーバーに移行する機会に内容の更新を行う。大きな変更点としてはPDCA部会を追加。

ホームページの内容について意見があれば寺本まで

#### 8) がんの集学的治療専門部会（資料12）

##### 青儀部会長より

薬薬連携については将来的に薬剤師からの情報提供が医療の中で非常に重要になってくる。薬剤師にある程度責任を持たされる可能性がある。このところは重要な課題である。ゲノム情報を用いたスクリーニングシステム、県内でも遺伝子パネル検査ができるようになり、各施設間での情報の共有がより重要になってくる。

HD暴露対策を県全体で推進する。CSTDによるコアリングの調査を行い、最終的な解析をCSTDの会社に対してコアリングの改善を求める為のデータにしたいと考えています。がん就労支援については他の部会と重複するところはあるが、令和2年1月に国立がんセンターの高橋先生をお呼びし、アクションチェックリストを検討するセミナーを開催した。

##### SCRUM JAPAN 愛媛連携の現状

がん遺伝子パネル検査の保険承認に伴い、リキッドバイオプシーによるスクリーニングを開始。がん種問わず、保険のパネル検査で変異がある症例を対象にリキッドバイオプシー研究に参加可能。FGFR遺伝子異常、HER2遺伝子異常、TMB-H、MET遺伝子

異常の医師主導治験が進行中。連携プロトコールが 2019 年 12 月に中央事務局で承認。四国がんセンターでのプロトコール倫理審査準備中。今後、愛媛の連携病院に相談する。AYA 世代対応ネットワーク、妊孕性ネットワークの今後の展開  
県全体のシステムの構築、情報共有、経験値の向上を目指す。  
課題は AYA：就労支援、長期フォローアップ、妊孕性：より確実な方法、患者への情報公開が重要になってくることが分かった。

#### 9) がん看護専門部会（資料 13）

多田部会長より

昨年度の活動報告

がん看護実践能力向上研修会 1 件、トピックス研修 3 件・スポット研修 1 件を予定していたが、トピックス研修 2 件 コロナウイルスの影響で中止。

がん看護実践能力向上研修会の費用については二万円から三万円に変更。経緯としては 2019 年度研修生 14 名で予定していたが、実際は 5 名。長期間の日程である為に参加が困難。ただし研修の目的、意義、充実した研修内容をかんがみ、研修の継続、多少の値上げをしても続けていかなければならないという結論に達し、部会員一致で三万円の値上げで賛同を得た。人数に関しても少なくとも 10 名の参加を確保する。

トピックス研修については、がん看護研修の実施状況とニーズ調査結果より、ニーズの高い研修として高齢者、認知症、終末期の摂食嚥下、口腔ケア、人生の看取りの最後の家族ケア、終末期などの時期やライフサイクルに応じた研修のニーズが非常に高かった。これらを参考に今年度の 2 つの研修を立案した。

コロナウイルスの影響により 8 月より開催の能力向上研修については集合での開催は困難と考え、研修方法について今後検討する。トピックス研修についても同様の検討を行う。

本研修の費用並びに研修の開催方法についての審議

特に意見なし。費用の負担についてはご理解をお願い致します。

研修開催方法については難しい問題。意見があれば参考とさせていただきますのでメールでも結構ですので何かご意見をよろしくお願い致します。

向上研修は中止ではなく WEB 開催、若しくは規模を縮小、何らかの方法で開催したい。

#### 4. 討議事項

各専門部会報告内で討議済み

- 1) 連携ネットワークシステムについて（資料 14）
- 2) 緩和ケア専門部会 緩和ケア研修会 PEACE の延期について

- 3) がん看護専門部会 40日間研修の研修の費用改訂について
- 4) ホームページの改訂について

最後に専門部会の組織に変更あり。副部会長に数名ずつ追加をし、各部会が活性化できるよう検討中。決定すれば発信し意見をいただきたい。

谷水協議会会長より

このような形での開催となりましたが、各部会からの報告と有益な情報共有はある程度達成できたのではないかと認識しております。また議事録だけでなく資料も情報共有ができるような形でしっかり協議会としての記録として残していきたいと思います。不慣れな点があり一部不手際もありましたが、こういった形での会議というのがこれからの未来の形を作っていくかなと思いつつ参加いたしました。まだ8月はおそらくこの形、10月はどうかわかりませんが1年間ぐらいはWEB開催になる予感はしております。この会議形態をブラッシュアップさせていきながらきちんとした情報共有ができるように努めていきたいと思いますのでどうぞよろしくお願い致します。

愛媛県連携協議会テレビ会議  
2020/08/08@松山

## PDCA部会活動報告

がん診療体制を改善していく環境を整えることは、がん専門病院としての義務である。PDCA(Plan→Do→Check→Act)活動を推進することにより診療体制の充実を図り、県全体の医療提供体制のレベルアップにコミットし、最終的には県内がん患者の予後改善に資することを旨とする。

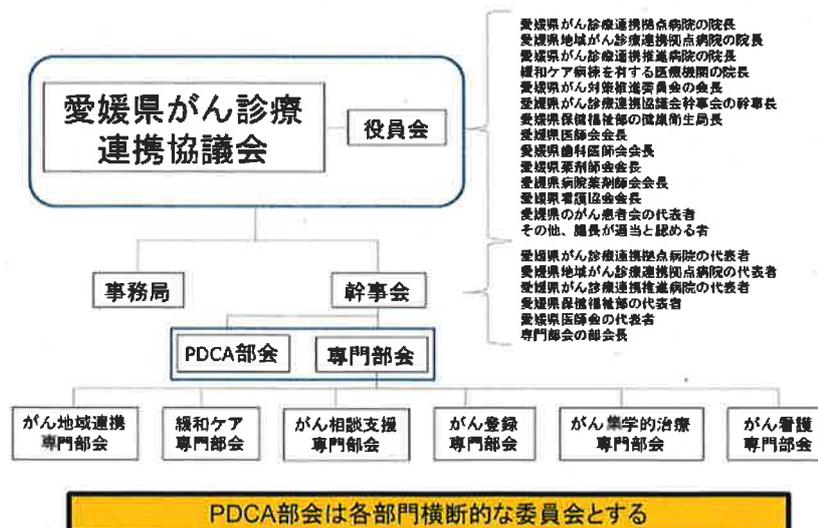
### 1) 具体的な臨床指標を共有し、各施設における診療体制の充実を目指す。

- ・臨床指標: 東京大学水流研究室で行っているがん診療体制における質評価指標、  
国立がんセンター東研究室: がん登録を用いる質評価指標、NHO臨床指標、等
- ・県独自/施設独自の臨床指標の設定も目指す。
- 院内において定期的に確認、情報共有する。

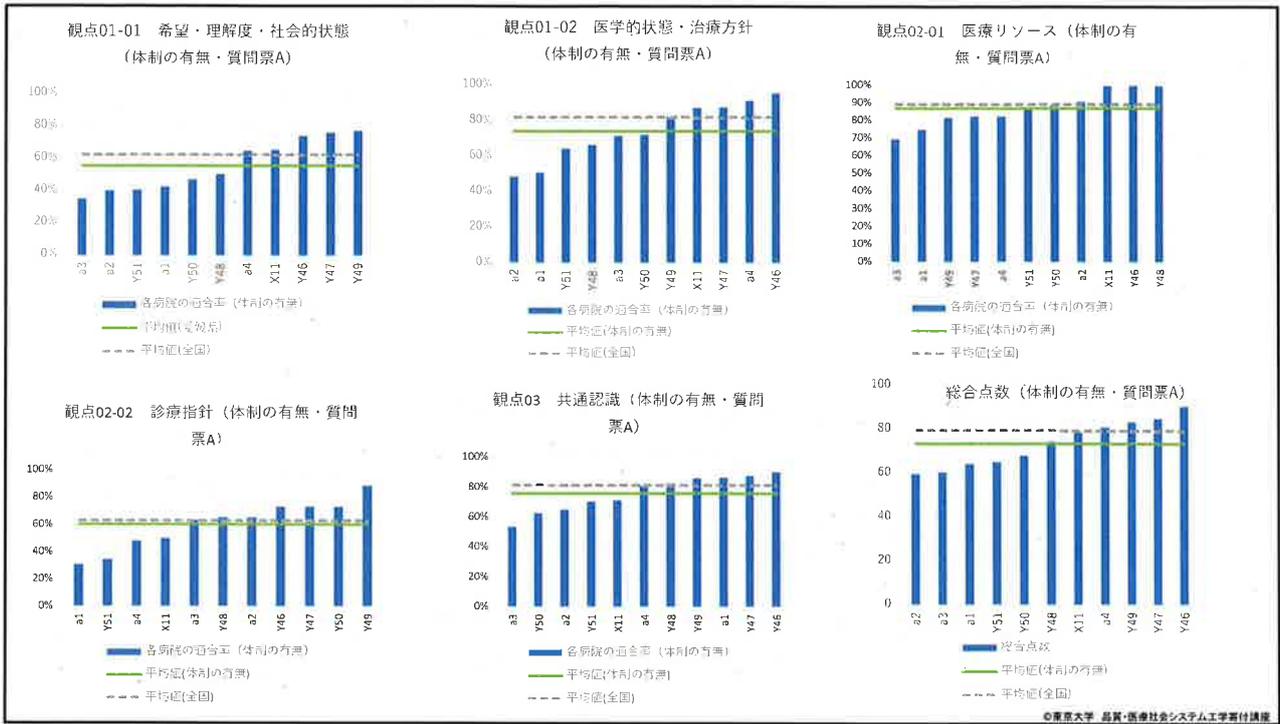
### 2) 3年に1度、連携病院間における診療体制の相互訪問調査を実施する。

1

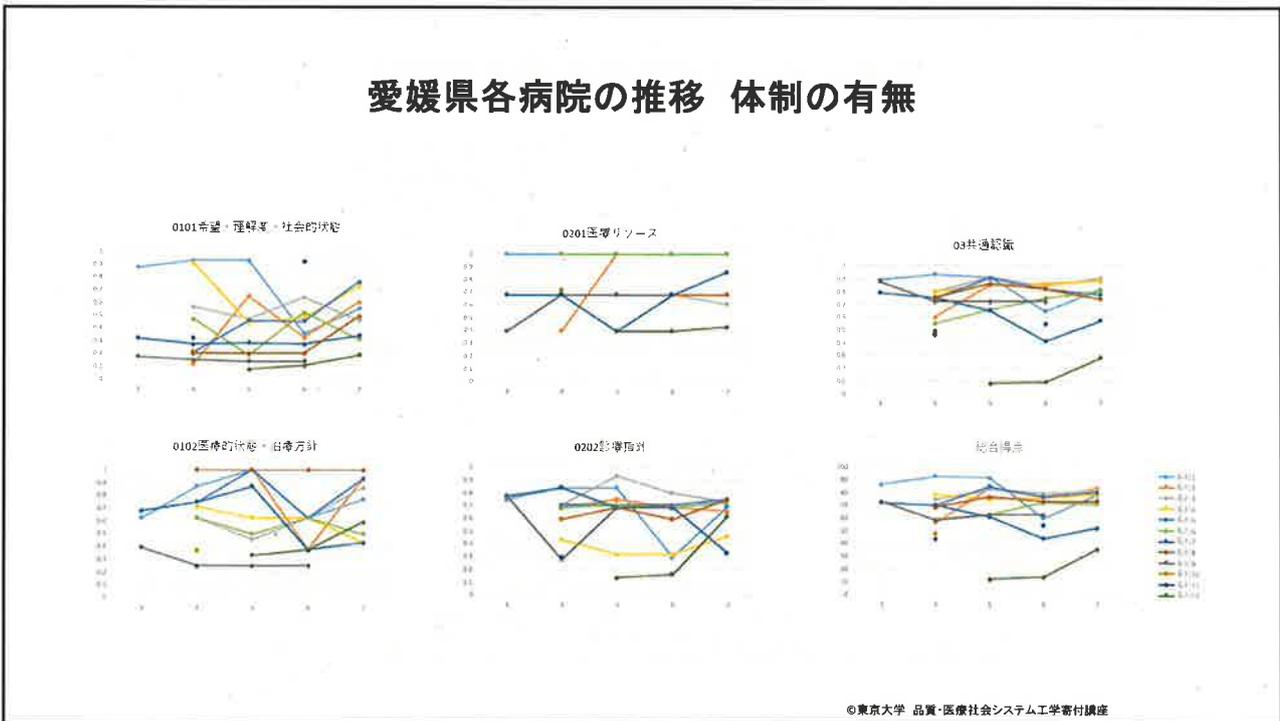
## 愛媛県がん診療連携協議会組織図



2

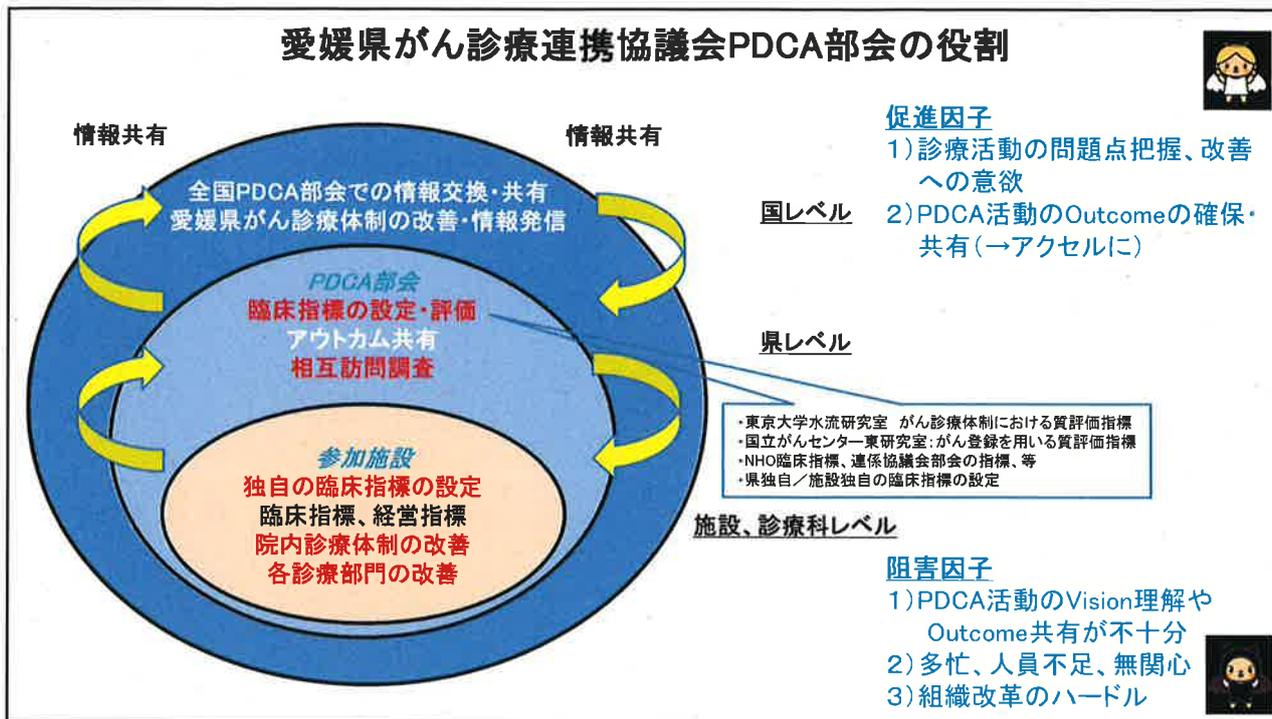


3



4

## 愛媛県がん診療連携協議会PDCA部会の役割



5

## 今年度PDCA活動のタイムテーブル

- 2020/4/23 : 幹事会 臨床評価指標調査結果の配布
  - 2020/6/26 部会による今年度臨床評価指標調査結果、改善活動の検討会 (ウェブ会議)
- ~改善活動開始@各施設~
- 課題**
- ・ 同意文書の改善
  - ・ 診療ガイドラインの閲覧
  - ・ 外来での患者の情報共有の改善
  - ・ 自由課題
- 改善ツールの使用 (胃癌、大腸癌)**
- ・ 管理ツール取扱いサイト:  
<https://youtu.be/kT8Gc0QKY90>
  - ・ 「改善管理ルーツ」の演習ビデオ
- 2020/10 : 中間報告会? (ウェブ会議?)
  - 2020/12 : 専門部会、報告会 専門部会と併せてPDCA活動報告 (ウェブ会議?)

6

令和2年度 第1回愛媛県がん診療連携協議会 がん地域連携専門部会 Web 会議 議事録

日時 令和2年6月23日(火) 15:00~15:45

場所 四国がんセンター 医長室④

出席病院: 15 病院

愛媛大学医学部附属病院・愛媛県立中央病院・済生会松山病院・松山赤十字病院 松山市民病院  
済生会今治病院・済生会西条病院・住友別子病院・四国中央病院 愛媛労災病院・十全総合病院  
HITO 病院・市立八幡浜病院・市立宇和島病院・四国がんセンター

司会進行: 四国がんセンター 橋根勝義

書記: 四国がんセンター 村上直子

## 資料

別紙資料①: 2020年4月23日 がん地域連携専門部会の幹事会報告

別紙資料②: がん地域連携部会 Web 会議配布資料内容

1. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、連携室の視点でがん地域連携専門部会の果たす役割
  - 1) ①新型コロナウイルス流行時期における各医療機関での取り組み
  - ② ①に対して良かった点・反省点
  - 2) がん地域連携専門部会で行えばよかったこと、事務局として地域に発信すればよかったこと
2. がん地域医療連携 ネットワークシステムについて
  - 1) システムを導入している医療機関の取り組みについての現状報告
    - ①連携医療機関数、利用患者数等の実績
    - ②システム普及に関する取り組み
    - ③連携医療機関からの意見(良い点・悪い点)
    - ④システムに関する問題点や今後の課題(自施設、愛媛県全体)
3. がん地域連携クリティカルパスの使用推進に向けた各施設の取り組み
4. かかりつけ医の促進に対する各医療機関の取り組み

## 議事内容

I. がん地域連携専門部会の幹事会報告: 四国がんセンター 橋根勝義 (別紙資料①)

II. 配布資料内容に沿って各医療機関と意見交換を行った。(別紙資料②)

### 1. 新型コロナウイルスの感染拡大でがん地域連携専門部会の果たす役割

- 1) 新型コロナウイルス流行時期における各医療機関での取り組み
  - ・住友別子病院は、紹介患者の多い病院に予め診療情報提供書にコロナの症状が記載できるように整え、紹介をしてもらっている。

#### 【オンライン診療について】

- ・HITO 病院は、電話再診が解禁されてからは多く行っている。
- ・四国がんセンターは、マニュアル作成後にホームページの掲載を行った。対象患者は、遠方の方や受診控えでの利用が多く、数件/日である。
- ・住友別子病院は、受診控えが多く再診の患者に限って対応し 150 件/月。

2) がん地域連携専門部会や事務局として行えばよかったこと

- ・愛媛大学医学部附属病院から、「連携パスを使用している患者についてコロナ禍でどのように診療をすればよいか」について記載があった。  
今後、部会のホームページに載せる事も検討し、情報発信の一つにして行きたいため、協力をお願いする。

2. がん地域医療連携 ネットワークシステムについて

- ・宇和島病院：15000 件  
医療機関に出向き設定し、SE がトラブルにすぐに対応できる体制が望ましい。  
訪問看護ステーションや薬局にも広げている。訪問看護ステーションではカルテを直接見ることができ、安心感にも繋がっている。ネット環境を普段から使用していないと難しいが、画像や検査を送らなくてもよいため、逆紹介も楽である。
- ・愛媛大学医学部病院：100 件  
「きさいやネット」を参考にしており問題はない。開業医からの問い合わせは時々ある。
- ・松山赤十字病院：1000 件 25 施設で 900 人  
スムーズに運用できている。1000 件利用しているが、特定の医療機関に偏っている。

3. がん地域連携クリティカルパスの使用推進に向けた各施設の取り組み

- ・愛媛大学医学部附属病院は、がんパスの推進に向けて ICT の訪問で前向きの返事があれば、合わせてがんパスの説明も行っている。

4. かかりつけ医の促進に対する各医療機関の取り組み

- ・愛媛大学医学部附属病院は、病院全体で「かかりつけ医」のキャンペーンを行っている。  
毎年、すべての医局に回りちらしを配布し啓発活動を行っている。
- ・宇和島病院は、2 年程度かけてかかりつけ医の促進を行い、紹介率・再紹介率とも 30%→70%  
(100%以上の月もある) になっている。病院玄関に病院のパンフレットなどを置いている。

5. 松山市民病院、四国中央病院、十全総合病院、済生会西条病院、HITO 病院、市立八幡浜病院についても II-1~4 について意見を聞く。別紙資料②に意見を追加した。

次回開催予定：未定

連携室の取り組み発表当番病院

愛媛大学医学部附属病・松山赤十字病院



1

<p><b>緩和ケア専門部会 WEB会議</b></p> <p><b>2020年7月16日</b></p>	<p><b>1.各病院の概要報告</b> 昨年から変更があった施設のみ発表</p> <p><b>2.各病院のPDCAサイクルの取り組み の中間報告と意見交換</b></p>
---	--

2

参加施設 グループ分け	施設	テーマ	
	1	松山赤十字病院	①チームのカンファレンスの持ち方
	2	愛媛大学附属病院	①チームのカンファレンスの持ち方
	3	愛媛県立中央病院	③ACPの定着への取り組み
	4	済生会今治病院(病棟有)	③ACPの定着への取り組み
	5	四国がんセンター(病棟有)	③ACPの定着への取り組み
	6	住友別子病院	②苦痛のスクリーニングからの対象患者の抽出と対応
	7	市立宇和島病院	①院内での緩和ケアチームの認知度向上の取り組み
	8	HITO病院(病棟有)	①院内での緩和ケアチームの認知度向上の取り組み
	9	四国中央病院	①院内での緩和ケアチームの認知度向上の取り組み
	10	済生会西条病院	①院内での緩和ケアチームの認知度向上の取り組み
	11	愛媛労災病院	①院内での緩和ケアチームの認知度向上の取り組み
	12	十全総合病院	①院内での緩和ケアチームの認知度向上の取り組み
	13	松山市民病院	①院内での緩和ケアチームの認知度向上の取り組み
	14	市立八幡浜病院	①院内での緩和ケアチームの認知度向上の取り組み
	15	済生会松山病院	②緩和ケアチームの質の向上の取り組み
	16	西条愛寿会病院(病棟有)	①認知症患者への取り組み
17	ベテル病院(病棟有)	①認知症患者への取り組み	

3

タイムスケジュール	内容
1. 参加者14施設48名 愛媛県立中央病院 松山市民病院 松山赤十字病院 愛媛大学医学部附属病院 済生会今治病院 市立宇和島病院 四国がんセンター HITO病院 済生会西条病院 済生会松山病院 十全総合病院 四国中央病院 松山ベテル病院 市立八幡浜総合病院	
欠席 住友別子病院 愛媛労災病院 西条愛寿会病院	
2. タイムスケジュール 17:35～17:37 挨拶 17:37～17:40 病院の概要報告(変更点がある施設のみ報告)	
PDCAサイクルに基づく緩和ケア専門部会活動の中間報告と質疑応答 17:40～18:00 Aグループ がん診療連携拠点病院6施設 18:00～18:30 Bグループ がん診療連携推進病院7施設 18:30～18:35 Cグループ 緩和ケア病棟を有する病院1施設 18:35～18:40 まとめ	

4

<h2>質疑応答</h2>	<p>Aグループ（がん診療連携拠点病院6施設）</p> <p>Q：済生会今治病院はテーマ②に対して、明確にスケジュールを立てて活動している。現時点で何か問題が生じていないか教えてほしい。</p> <p>A：問題は発生していない。</p> <p>Q：愛媛県立中央病院はテーマ③に対して、新しくACPスクリーニング用紙の運用を開始しているが、現在の回収枚数など解れば知りたい。</p> <p>A：明確な枚数は答えれないが、まずは回収できている。</p> <p>Bグループ（がん診療連携推進病院7施設）</p> <p>Q：各施設、評価指標の設定はしているのか。例えばテーマ②では依頼数で評価しているのか。</p> <p>A：評価指標を設定していると返答した施設はなし。</p> <p>他の診療科からの依頼数、入院期間の変化、アンケート調査などが挙げられると思うが、部会での意見交換などで考えられたらよいのではないか。</p>
---------------	---

5

<h2>質疑応答</h2>	<p>Cグループ（緩和ケア病棟を有する病院1施設）</p> <p>Q：松山ペテル病院ではテーマ⑥の取り組みをしている。</p> <p>他施設で認知症患者への取り組みで参考になるような知見があれば教えてほしい。</p> <p>A：いずれの施設も解りかねる状況</p> <p>全体での質疑応答</p> <p>Q：HITO病院はテーマ②に対し、既成のものを使用せずオリジナルのバッジを作しているが、理由があれば教えてほしい。</p> <p>A：目立って声をかけてもらいやすいように、既成のものを利用するのではなくオリジナルにした。</p> <p>その他</p> <p>四国がんセンター谷水院長より、第3期愛媛県がん推進計画(H30～R5)の中間評価を作成するため、各施設のがん推進計画進捗状況調査のご協力をお願いする。</p>
---------------	--

6

## 今後の予定

新型コロナウイルス感染対策のため、カンファレンスが中止となり、活動ができていなかったり、勉強会が開催できなかった施設があり、今後の活動に期待する。

各施設での取り組みを進め、評価を行い、その結果についてまとめ、12月の専門部会で情報共有を図る予定である。

## がん相談支援専門部会からの報告

### I. 報告・協議事項

1. 「愛媛県がん診療連携協議会がん相談支援専門部会の目的・活動方針」  
修正案
2. 今後の体制と副会長の変更について  
副会長2人追加、実務者代表2人の変更
3. 災害WGの活動について  
4月9日第2回災害連絡シュミレーション報告  
WG活動案の提案、サブリーダーについて
4. 地域相談支援フォーラムについて  
3月7日に予定していたが中止、今後の予定も未定、今年度の高知開催も未定
5. 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会情報提供・相談支援部会報告  
(第14回6月5日オンライン配信)  
「がんとの共生のあり方に関する検討会」における議論について  
小児がん連携病院と小児がん医療連携について  
「がん総合相談に携わる者に対する研修事業」について

1

### II. 各ワーキンググループの活動報告

- 1) がん相談員研修ワーキング
  - ① 第1回がん相談員研修会は中止
  - ② QA研修会は11月14日(土)にオンライン研修会を予定
  - ③ 国がんが行う研修はオンラインになっていることの報告
- 2) 広報活動ワーキング
  - ① 11月8日に読書週間に合わせて愛媛県立図書館との共同企画を予定
  - ② 2021年3月14日(日)住友別子病院と新居浜市との共催イベントで  
出張相談を予定
  - ③ がんサポートサイトえひめについて 現状報告と活用推進
- 3) チェックリストワーキング
  - ① 今後の活動予定 例年通りチェックリストの作成を施行予定
  - ② チェックリストの整理と見直し
  - ③ 愛媛県がん相談支援推進協議会からがん対策推進基本計画第3期計画  
の中間評価に利用することを検討中 協力依頼

2

### Ⅲ. その他

1. サロンカレンダーについて  
各施設の一覧表のみの記載
2. 愛媛県健康増進課より「若年がん患者在宅療養支援事業」についての案内  
今年度は5市町で事業が開始  
他の市町は順次拡大予定
3. 愛媛県産業保健総合支援センターより「両立支援活動の紹介」
4. ハローワーク出張相談開始報告 住友別子病院から報告  
産保センター出張相談開始報告 愛媛県立中央病院から報告

愛媛県がん診療連携協議会 がん相談支援専門部会 (Web 会議)

議事録

令和 2 年 7 月 9 日 (木) 13:30~14:30

出席者 (39名)	愛媛大学医学部附属病院	塩見、大野、武市 六角	愛媛県立中央病院	渋谷、上野、季羽 石山、小笠原、井上
	済生会今治病院	松岡、池田、西部	松山赤十字病院	玉井、佐伯、金山 高須賀
	住友別子病院	和田、山地、高橋 小倉	市立宇和島病院	毛利、川中、沼田
	松山市民病院	三谷	四国中央病院	古川、高木
	HITO 病院	守屋	十全総合病院	向井
	済生会西条病院	大谷	済生会松山病院	平岡、藤原
	市立八幡浜総合病院	高橋	四国がんセンター	灘野 (部会長) 羽藤 (副部会長) 藤山 (副部会長) 福島、関木、藤岡
記録者	四国がんセンター	藤岡 (事務担当)		

委員以外の参加者：愛媛県保健福祉部健康衛生局 健康増進課 健康政策グループ

担当係長 白石拓也氏

愛媛産業保健総合支援センター 産業保健専門職 福田せいら氏

挨拶

がん相談支援専門部会 部会長 灘野成人

それでは、令和 2 年度がん相談支援専門部会を始めたいと思います。部会長の灘野です。今日はお集まりいただきありがとうございます。Web 会議で行うのは今回が初めてで、色々不手際もあると思いますが、進行にご協力よろしくお願ひいたします。

協議会全体の兼ね合いで、新しく当院の副部会長が二人増えました。消化器外科の羽藤先生と皮膚科の藤山先生が副部会長になってくださいましたので、簡単に挨拶をお願いします。

(羽藤副部会長)

四国がんセンター消化器外科の羽藤と言います。この度、副部会長を務めることになりました。今現在、愛媛県の方でも相談支援の仕事もさせてもらったりしてる関係で、今回からこの専門部会にも参加させていただくことになりました。分からないことも多いですが、ぜひ頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

(藤山副部長)

皮膚科の藤山と申します。不勉強で全然分からないことばかりですので、これから勉強していきます。よろしくお願いいたします。

それと、今日は専門部会の委員以外に県から白石さんと産保センターから福田さんが参加していただいております。

愛媛県庁の健康増進課の白石氏と愛媛産業保健総合支援センターの福田氏より簡単に挨拶。

## I. 報告・協議事項

### 1. 「愛媛県がん診療連携協議会 がん相談支援専門部会の目的・活動方針」修正（案）

部会長 灘野成人

専門部会の目的と活動方針というのがありますが、目的は変更ありませんが、少し活動に合わせて方針の詳細項目を追加しています。四国でフォーラムを行ったり、チェックリストを実施したり等の活動が増えていますので、活動方針の修正案を提案します。

この場で意見は出ないようですので、後日意見のある方はご連絡をお願いします。

### 2. 今後の体制と副部長の変更について

がん相談支援専門部会 部会長 灘野成人

前の部会でもお話ししましたが、実動部隊としての副部長を塩見さんに無理をお願いして2期4年間していただきましたが、今回から副部長を今治済生会病院の松岡さんに代わっていただいています。やはり専門部会のとりまとめとなりますので日頃の業務と合わせて大変ご負担をお掛けしますので、今回新たに「愛媛県がん診療連携協議会がん相談支援専門部会 副部長（医師以外）に関する取り決め事項」（案）を提案させていただきました。これまでの一人から二人体制で、一人は四国がんセンター、一人は拠点病院から順番でということで提案させていただきます。

（案の作成者：愛媛大学病院の塩見委員）

中身は後日でもご意見をいただきたいのですが、先ほど先生方が副部長として入ってただけるということでしたので、名称については、例えば、ここで言ってる「副部長（医師以外）」というのは、例えば「実務者」等という呼びの方がよいのではないかと感じました。というのも、実際今、四国単位で色々研修会だとかフォーラムの動きがある中で、色々役割がどういう方なのかということも大事なことになりますので、名称だけでもはっきりさせておいた方がいいのかなと感じました。以上です。

ありがとうございました。今の塩見さんの意見はもっともですし、実務者のまとめ役という人が二人は必要だろうということで、案の修正を行いみなさんにメールで承諾を得たい

と思います。ご意見、ありがとうございました。

他にないでしょうか。またお気づきになる点がありましたら、またご連絡をお願いします。

「愛媛県がん診療連携協議会がん相談支援専門部会 副部会長（医師以外）に関する取り決め事項」（案）⇒（修正）「愛媛県がん診療連携協議会がん相談支援専門部会 実務者代表に関する取り決め事項」（案）

【輪番予定（案）】令和2年～3年度 済生会今治病院  
令和4年～5年度 住友別子病院  
令和6年～7年度 県立中央病院  
令和8年～9年度 市立宇和島病院  
令和10年～11年度 松山赤十字病院  
令和12年～13年度 愛媛大学医学部附属病院

### 3.災害WGの活動について

災害WGリーダー 関木裕美（四国がんセンター）

第2回災害連絡シミュレーションの報告です。4月9日10:35に2回目のシミュレーション（愛媛県の病院におけるがん患者さんの受け入れ態勢調査）を専門部会のメーリングリストへメール送信させていただきました。全施設から返信を頂き、表の通りの結果です。まず、前回第1回目はパスワードが届くまでのタイムラグが理由で配信メールが届くのが遅かったという反省から、調査票自体にパスワードの設定することで遅延なくメール送信ができました。14ヶ所のうち、当日の返信が11ヶ所あり、1週間以内が3ヶ所でした。当日の返信のうち、配信後3時間以内が5ヶ所（配布資料訂正：3時間以上5ヶ所→3時間以内5ヶ所に訂正）、3時間以上が6ヶ所という結果でした。メールの送受信というのは問題なくおこなえたかと思います。年度初めの実施でしたが、返信はスムーズだったかと思います。今後の展望としては、この調査表の中に「電話」とか「FAX」のところは直通とか代表というふうに記載があるところと、斜線でないところとあるんですか、統一できたほうがよいのではないかと思いますので、今後WGで協議したいと思います。今回はメーリングリストの再確認とメールの送受信ができるかというのが目的でしたので、グレーの色がついている「記載なし」が何ヶ所かあるんですけども、今回は問題ないんですが、今後はここも記載できるように自施設内で定期的に話し合ってください必要があると思います。また、今回は新型コロナウイルスの感染対策ということについても6項目追加して情報共有させていただきました。その後改めて新型コロナウイルスの感染対策状況調査というのをメールで発信させていただきました。その後の各施設においても体制として状況変化、対応状況の変更というのが頻繁におこなわれていた状況があったため、変更点についてみなさんと情報共有するのが難しかったかなと思います。今後の情報共有をどうするか、その必要性につ

いて検討が必要かと思っております。これまでのシミュレーションのこのことについては、何かご質問とかあればこの時点でお伺いします。

⇒特に意見なし。

次の「災害ワーキングの活動（案）」とういところにうつりたいと思います。

昨年度の専門部会で、災害ワーキングを立ち上げて活動していくということになって、正式に活動するにあたり、目的を共有した上で取り組みたく活動案を提案させていただきました。「災害ワーキングの立ち上げの経緯」「目的」、「目標」は案の通り、「方法」として、まずは災害ワーキングメンバーをご施設で選んでいただいていますのでそのメンバーからリーダー、サブリーダーを決定し、活動計画を立案していきたいと思っております。提案内容について何かご意見はありますか。

⇒特に意見なし。

この内容でワーキング活動を進めさせていただけたらと思います。

ちなみに、リーダー、サブリーダーは、リーダー四国がんセンターの関木がさせていただきます。サブリーダーは、東予については住友別子病院の山地委員、南予は市立宇和島病院の毛利委員にお願いしたいと思います。まずコアメンバーで活動させていただきながら、メンバーのみなさんが持っている知識などをご提供いただきながら活動できればと思っておりますのでお願いします。

（灘野部会長）

一昨日も、大雨警報アラートがでていたので、災害等の状況などについて調査した方がよかったですと思いました。どういうときに状況調査をするかを決めておかないといけない。1回やっても、先日の新型コロナウイルス感染症拡大に関わる調査のときも後が続かなかったので、例えば1週間に1回やるとか、具体的に決めないといく必要があると思います。やはり、災害の警戒レベル4になったらMLに流すなど行動レベルで決めておくことが大事になると思います。

災害の状況調査を近いうちに1回「ご自分の施設は何の影響もないよ」とか「周りは大丈夫」ということだけでもよいので。明日と明後日も大雨が続く見込みであるため、また余裕があればさせていただこうと思います。このようなメールは、突然配信することになりますので、またメールが届きましたらよろしく願いいたします。今回は、できておらず、反省しております。

今後は、コアメンバー、メンバーのみなさんと一緒に基準や取り決め事項を整理していきたいと思っております。

#### 4.地域相談支援フォーラムについて

2019年度地域相談支援フォーラム in 四国愛媛開催 実行委員長

塩見美幸（愛媛大学医学部附属病院）

昨年度開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で開催できませんでした。ワーキングメンバーの方々は、本当に何度も月 1 回集まっていただけでなく、かなり各自での作業も負担が大きかったと思いますが、ご協力本当にありがとうございました。就労支援で、せっかく愛媛県内で、みなさんと一緒に学べる機会になると思ってはりきって準備はしていたんですけども、また次の機会と言いますか、四国全体でフォーラムは続けていこうという意向は続いておりますので、みなさんにそれぞれご協力をしていただけたらと思います。以上です。

（灘野部会長）

今年度は、高知県で開催する予定もコロナ禍なので、難しいようですが、もし年度末くらいでコロナが非常に落ち着いた状況があれば、開催できる可能性はあるでしょうか。

（塩見委員）

今年度は、講師の先生方のことがありますので、現時点では動いていません。開催できるかどうかは何とも言えないです。

（灘野部会長）

せっかく準備していただいたので勿体ないと思いますので、再来年とかになってしまうと、また1からになってしまうかと思ひまして、すみません。それでは、一応フォーラムはまた機会を見てやるということで、その時はよろしくお願いします。

## 5. 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会情報提供・相談支援部会報告

（第 14 回 6 月 5 日オンライン配信）

福島美幸（四国がんセンター）

第 14 回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の情報提供・相談支援部会がオンラインで公開されましたので内容を抜粋してご報告致します。まず昨年よりすすめているがん共生のあり方に関する検討会における議論の経緯について厚労省健康局よりお話がありました。3、4 か月に 1 回のペースでご覧のとおり開催されておりました。緩和ケアに関しては昨年度実地調査を 2 か所パイロット的に行い、今年度以降全国実施に向けて検討するということでした。また、緩和ケアの研修会の継続研修の必要性や地域緩和ケア連携調整員の育成、苦痛のスクリーニングの見直しというのが挙がっておりました。

相談支援及び情報提供では、相談支援の質の担保、多様化・複雑化している相談内容、ニーズに対応できる体制についてや、ピアサポートが十分普及していない、地域統括相談支援センターの見直しについても議論されています。平成 30 年 7 月に出版された成人がん拠点病院の指定要件の見直しにも AYA 世代や就労相談の連携、がんゲノム、生殖機能などの相談対応も盛り込まれております。相談支援センター対象の WEB アンケートの結果からもご覧のような課題が挙げられておりました。また地域における相談の取り組みとして国が作成

したプログラムと教材を積極的に活用してピアサポートに係る研修を行うということも挙げられています。

地域統括相談支援センターは全国に15か所ありますけれども、愛媛県では設置の予定はないと聞いています。また、みなさんの施設にも届いていると思いますが、ピアサポーター養成テキストというのも日本サイコオンコロジー学会に委託され作成されています。がん専門相談員の育成としては、継続的な研修体制等や施設により役割分担の必要性とか環境作り等があげられています。地域における相談支援としてはピアサポートと拠点病院の連携体制作りが挙げられていました。就労についてもアピアランスケアの普及とか自殺対策として専門的ケアにつなぐなどがあげられていまして、モデル事業では、お役立ちノートの活用や取り組み実績についても共有をされておりましたので参考になると思います。

また、アピアランスケアについての必要性と取り組みが挙げられておまして、就労支援、両立支援の更なる推進についても医療機関は診断初期から支援する、ニーズを引き出せる支援者の資質向上、アピアランスケアの相談の入り口として相談内容としてとりいれていくことも取り組みとして挙げられていました。自殺対策については、がん相談支援センターメーリングにてヒアリングが1月にありまして、地域と病院の取り組み例が挙げられております。愛媛県でも取り組んでいるゲートキーパーの養成というのも挙げられていました。厚生労働省のホームページの方には両立支援と相談支援が掲載されたというところと、身障手帳の申請時の写真というところで、アピアランスケアの観点から帽子やウィッグが認められていることの周知がありました。

小児がん医療については、成育医療研究センターの松本先生よりお話がありました。

小児がんは15歳未満の方を対象としており、数は少ない反面種類が多いという特徴があり、全国では15施設の小児がん拠点病院があります。ブロック別に小児がん連携病院があります。愛媛県では、愛媛大学医学部附属病院、県立中央病院、松山赤十字病院の3つの施設となっています。小児がん相談員の配置が望ましいと言われていたというところと、小児がんと成人がんの連携というところでは、AYA世代のがんに関しての連携と小児がん経験者の長期フォローアップに関しての連携が重要だということのお話がありました。

まず、小児がんのことを正しく知って情報提供をして下さいということで、国立がん研究センターがん情報サービスのホームページも小児がん情報サービスというのもありますということでご案内がありました。また、ホットラインといのもありますので、患者さんへ紹介することも可能です。連携病院の相談員に推奨されている研修の案内もありました。

がん総合相談に携わる者に対する研修事業については、日本サイコオンコロジー学会の小川先生よりピアサポートに関する研修を学会が対がん協会から引き継いで活動している厚生労働省委託事業として報告がありました。ピアサポートの養成、質の担保に関する課題をまとめておられて、養成には体験者と行政と医療者の三者の協力が欠かせない、ピアサポートは語りべとして医療にたずさわる一つのリソースであり医療者はそれを理解しどう活用するかを考えていく必要があるということと、また行政は更に理解する姿勢が大事であるとの

ことでした。研修事業はホームページに公開されているそうです。またみなさんご覧ください。

がん対策情報センターからは、研修プログラムの案内がありました。研修企画コンサルテーションや学習の手引きの案内もありました。2020年度のeラーニングと集合研修の相談員研修スケジュールの案内では、集合研修の基礎研修3が中止となっていますが整備指針を満たせない施設に対しては第4回を検討中とのことでした。指導者研修はWEB開催の予定の案内でした。来年度についてもオリンピック・パラリンピックの開催も予定されているので、変則的に計画がされています。QA研修講師派遣については3年計画の最終年となっており、四国では最終回となります愛媛県での開催が11月14日土曜日に決定しております。また後程この件に関してはご報告します。

認定事業についてはご覧のとおりで、認定がん相談支援センターの申請は今月末まで延長となっています。また、都道府県主催がん専門相談員向け研修の予定公開を早めにする事となったとのことで、都道府県主催のオンライン研修も今後多くなっていくと思いますが、これまでの要件を満たせばⅢ郡研修としても認められるというご案内がありました。昨年度の地域相談支援フォーラムは青森県の報告があり、相談員のストレスマネジメントを学ぶ内容となっていました。

最後は、3月から4月にがん相談支援センターメーリングリストで「相談支援及び情報提供」の個別目標に関するWebアンケートの結果が挙げられておりましたので今後の活動の参考にご活用ください。以上です。

(灘野部会長)

もう少し詳しく見たい方は、がん情報サービスのホームページに入っていただいで見ていただければYouTubeが聞けると思いますので、よろしくお願ひします。

## 6. 各ワーキングからの報告

### 1) 相談員研修WG

福島美幸(代理)(四国がんセンター)

(リーダー:四国がんセンター 篠原瞳)

- ・今年度の相談員研修について

1回はQA研修を11月14日に予定

毎年2回開催しているところのもう1回については、今年度は集合研修が難しいだろうということと、ワーキングも集まって開催できないということで、今年度はなしということになりました。

- ・令和2年11月14日(土)QA研修の開催予定について

実際、QA研修の方についても、オンライン研修となった場合なんですけれども、グ

グループワークがあるのですが、環境的に、参加をしようと思った際に、一人ずつのそういう環境がないとなかなかグループワークって難しいのではないかと思います。みなさんの病院さんで個人が参加しようと思った際にそういう環境というのが整っているのかどうか、少し確認ができればと思いますが、いかがでしょうか。

(灘野部会長)

QA 研修は、本部の方はいわゆるオンラインを入れながらという方針のようで、コロナの影響もありますので、こういう研修とか学会が将来的にはオンラインを混ぜながらの開催になるのではないかと思いますので、各病院で積極的に体制を整えていかないといけない時代になっていくんじゃないかと思います。本日の会議は支障なくできているようですが、研修ができるくらいのオンラインネット環境を各病院の方に環境を整えていただく必要があると思います。そのあたりは、また幹事会の方でも話がでるかもしれないのでまたその時は話をしておきますので、皆さんの施設でも整備についてよろしくをお願いします。

(福島委員)

塩見さんの方から、研究班によるオンライン研修について少し情報提供をお願いできればと思います。

(塩見委員)

研究班の方の動きは、まだ不確定な要素が多いのですが、先日も案内がありましたように 8 月に行われる国がんで行う研修はすべてオンラインになっています。今後の情報支援の研修などもオンラインにできないだろうかと検討中ですので、おそらくオンライン研修の方向で動いていっています。私も何度か Web 会議をやっていますが、パソコンと Wi-Fi などのしっかりした通信環境があることが条件となるかと思しますので、愛媛の 11 月の開催がこういった形式になるのかというのはまだ東京の先生方々とも相談にはなるかとは思いますが、各病院で、病院でこの研修を受ける場合でしたら、Wi-Fi とかパソコンの環境があるのかどうか、またご自宅からでももちろんその環境が整っていればそういった Web 会議のかたちは可能かと思しますので、そういった準備を各自とか各病院でやっていくことが大事ではないかと思っています。以上です。

(福島委員)

また、皆さんの状況も確認させていただきながら、詰めて決定していきますので宜しくお願いします。

## 2) 広報活動 WG

福島美幸（代理）（四国がんセンター）

（リーダー：四国がんセンター 大西明子）

- ・ 令和2年11月8日（日）愛媛県立図書館 出張相談会について  
今年度の予定は、11月8日（日）に愛媛県立図書館の方で、出張相談会を予定しております。現時点では愛媛県立図書館さんの方でも開催する方向だと伺っておりますので、よろしくをお願いします。
- ・ 令和3年3月 新居浜 出張相談会について  
来年の3月には、新居浜の方での出張相談会というのも計画しています。
- ・ がんサポートサイトえひめについて  
ご協力いただいているのですが、現在、子宮がんの方を作成中で、最終段階との報告が入っております。みなさん、またサイトの方を確認していただいて、相談支援の方でも活用をお願いします。

（灘野部会長）

先日、NPO 法人愛媛がんサポートおれんじの会の松本さん達の最終チェックを受けておりますので、秋までには公開できると思っていますので、ご利用をよろしく申し上げます。

### 3) チェックリスト WG

チェックリスト WG リーダー

松岡誠子（済生会今治病院）

- ・ 今年度の活動予定について  
昨年度のチェックリストの結果につきましては、5月中旬にみなさまに協議会のメーリングのほうで配信をいたしましたので、お目通しいただいたと思います。みなさまの取り組みの成果で全体の改善数も上がってきており、チェックリスト活動を続けてきた成果が出てき始めたのではないかと考えております。ご協力ありがとうございました。
- 本年度は、昨年度の協議会で塩見さんから情報提供いただいた「国がんから示されている共通項目の内容」や「新整備指針の内容」を反映してチェックリスト項目の整理と見直しを少しおこないたいと考えております。ただ、活動する期間が大変限られておりますので、今年度は項目見直しの着手、具体的には、ワーキングで検討後、チェックリスト項目の見直しについてみなさまにご承認をいただいた上で、引き続き今年度もみなさんにチェックリストの作成をお願いしたいと考えております。提出の期限や方法についてもメーリングリストでみなさまに配信させていただきますので、ご協力をよろしくお願いたします。ここまでで、何かご質問やご意見がありますで

しょうか。

⇒特になし

塩見さんの方から関連事項についての情報提供をお願いしたいと思います。

(塩見委員)

愛媛県がん相談支援推進協議会の方の動きと絡めてになりますが、毎年このチェックリストをこの部会でつけていただいて、もう4年目5年目になるんですが、このデータを愛媛県のがん対策推進基本計画第3期の計画の中間評価に使えないだろうかということで、今、県の推進協議会の方で検討を重ねているところです。実際に、その中間評価の項目でチェックリストの結果で使えそうなところは使わせていただこうと思っておりますが、加えて部会のみなさんに詳細な情報を教えてもらいたいことがあるかもしれませんので、その場合はこの1か月内にメールで情報提供を呼び掛けてお願いさせていただきますのでご協力をお願い致します。

以上。

## II.その他

### 1. サロンカレンダーについて

サロンWGリーダー 関木裕美(四国がんセンター)

県内のサロン開催カレンダーですが、これまで年2回情報収集をして暖だんやがんサポートサイトえひめのホームページに掲載しておりましたが、新型コロナウイルス関係で中止などもあり、今後は各施設の一覧表のみの掲載とさせていただきます。また、情報収集については、えひめがんサポートサイトの活動に集約していただくことができましたので、そちらから年1回定期的にまた、不定期の場合もありますが、情報収集する際に確認させていただくこととなりますのでよろしくお願い致します。また近いうちに子宮がんの情報収集が近々行われる予定とのことですので、併せてがんサロンの一覧表についても変更等ありましたらよろしくお願い致します。

(灘野部会長)

がんサロン開催についても、新型コロナウイルス感染の対策もしながら安全に再開する必要もあると思いますので工夫して頂いて再開できることを祈っております。

### 2. 愛媛県健康増進課より「若年がん患者在宅療養支援事業」についての案内

愛媛県健康増進課 白石拓也氏

愛媛県が今年4月1日より実施している若年がん患者在宅療養支援事業についてご案内とお願いです。

6月中旬に院長宛にリーフレットをご案内している、若年がん患者さんの在宅療養を資金的なバックアップをするものです。20歳以上40歳未満で介護保険の対象にならない

い方を対象に行政の方で支援するものです。回復の見込みがないがん患者さんで在宅で訪問入浴、訪問介護、福祉用具貸与や購入などのサービスを利用した場合に、月額6万円を上限に自己負担は1割になりますが、県と市町からサービス利用料の一部を負担するものであります。現時点では、リーフレットの下に市町の担当窓口を掲載していますが松山市、宇和島市、西予市、鬼北町、松野町の5市町となります。順次拡大していこうと考えております。在宅療養をする際にサービスを使いたい方がいらっしゃいましたら、5市町の担当窓口（電話）に問い合わせいただき制度が利用できるか相談をしていただき、詳しいことは随時県の方にもお問い合わせ（裏面記載）していただければと思います。慣れない中ですが、皆様のご協力をいただきながら、がん患者さんの支援を少しでもしていきたいと考えておりますのでよろしく願いいたします。

（灘野部会長）

5市町以外で希望があった場合は県へ相談させていただいても宜しいですか？

（白石氏）

市町の事業ですので、今年度中に時期は未定ですが八幡浜市と久万町の方もできる予定です。来年度はもっと拡大される予定です。

（灘野部会長）

何かありましたら白石さんへご連絡して頂ければと思います。

### 3. 愛媛産業保健総合支援センターより「両立支援活動の紹介など」

福田せいらい氏

愛媛さんぽセンターは産業保健スタッフの皆様の活動を支援する公的機関で、働く人のこころとからだの健康をサポートしております。産業保健に関するセミナーや相談対応、メンタルヘルスに関する対策、支援、治療と仕事の両立支援活動を行っております。

少し両立支援を取り巻く社会の現状についてお話させていただきます。ご存じの通り、治療の進歩によりかつては不治の病とされていた疾病においても生存率が向上、長く付き合う病気に変化しつつあります。しかし、実際にはがんと診断された時点で仕事を辞めてしまうという方が4割程度いるという現実があります。少子化に伴い就労人口は大幅に減少、就労年齢の高齢化により労働者の有病率の増加もあり、治療をしながら働くことが普通にできる社会づくりが今必要とされています。一方で医療機関において、両立支援の取り組み状況は様々で、患者、労働者が医療機関との連携が取れずに、仕事に対して悩みを抱えたまま離職してしまうケースも少なくありません。こうしたことから、労働者の両立支援に取り組む企業に対する支援や、医療機関における両立支援対策の強化が必要な状況となっています。

このような背景から、当センターも国から当事業を委託され現在活動しております。労働者や患者様に対して、実際にお会いして個別相談、そして電話相談、そして会社訪

問もしております。社労士や保健師等の専門スタッフが対応し、課題を整理し、具体的な方策をアドバイスさせて頂いております。その他、県内の関係機関にこの両立支援の周知・啓発活動、また病院向けや会社向けにセミナーの開催、また両立支援コーディネーター研修も行っております。

当センターも全国の各病院に設置を進めております、就労相談窓口の役割と必要性についてご説明いたします。仕事と治療の両立では、職場、家族、病院など登場人物がたくさんでできます。両立支援には、医療機関と会社との連携が不可欠ですが、登場人物が多いだけに、それぞれが持っている知識や使用する言葉も違うため、患者一人で情報を整理・共有することは困難です。このような点を解消していくために、患者の思いに耳を傾け、情報をきちんと整理し、患者を支援する存在が非常に重要です。その存在が各病院の相談窓口、当センター・労働局などの相談窓口となります。しかし、ただ窓口を作っただけでは不十分です。相談窓口へのハードルは患者さんにとって高いものです。患者さんが悩みに気付いて、このハードルを乗り越えられるよう、医療現場のスタッフの皆様一人一人が、患者さんを相談窓口へ繋ぐことが大切となります。そこで、まずはスタッフが要支援者を見つける環境作りが必要です。早期に離職を決断してしまう患者さまも多くいらっしゃいます。問診票や緩和ケアスクリーニングシート、入院時アナムネにて就労の有無を確認、また診断書を希望された時や、入院時センターでの説明時に就労相談窓口の案内を行うことも有効と思います。そして、まずは治療をしながら働くことは普通なことだと知ってもらうこと、両立支援や窓口の周知活動が大切となります。

今からできる就労支援についてご説明します。まずは患者が就労している確認する。この時点では就労の有無だけでも構いません。次に、早まってやめないように伝えることが大切です。治療に専念しましょう！という医療者の言葉から早期退職してしまうことがあります。そうなる前に、治療をしながら仕事を続ける選択肢はあることをお伝えし、まずは辞めないように伝えて下さい。

そして相談窓口の場所を教えてください。院内の窓口でも、当センターや労働局の窓口でも構いません。まずは一番に患者さんに治療をしながら仕事を続けることが出来ること、相談できる場所があることを知って頂くことが重要です。当センターでは治療と仕事の両立支援に関する周知資料をたくさんご用意しております。すでに何カ所か直接訪問し配布させて頂きました。まだお持ちできていない病院へは、今後郵送にて送らせて頂こうと思っております。最後に皆様、医師の意見書についてご存じでしょうか。会社側が復職後の勤務内容について検討しようとするも、患者の状態は抗癌剤の種類、合併症など治療経過によって様々で、会社側が勝手に予測するのは不可能に近く、また患者から会社に説明するのも困難です。今まで診断書と言いますと、ただ療養期間や就業の可否のみだったと思いますが、今後この両立支援で必要とされるのが、この働く際の具体的な注意点・配慮について書かれた医師の意見書となります。作成

に当たっては、まず①患者が勤務情報を医師に提供、それをもとに②医学的な立場から、望ましい就業上の措置や配慮について書かれた意見書を患者へ提出し、③それを患者が会社に提出します。④その意見書を元に会社が復職プランを作成します。このやりとりが会社・病院・患者間で当たり前・自然にできることが両立支援の目標です。このやりとりは診療報酬で点数が取れます。今後意見書の書き方についても各病院にご説明出来ればと思っております。各病院の両立支援の活動状況を把握させて頂きたく、この度アンケートを各病院に1部ずつへ郵送させて頂きます。少しでも多くの方が、治療と仕事が普通にできる社会を目指して、今後ともお力添えのほど、よろしくお願い申し上げます。

(灘野部会長)

本来は、就労支援について地域相談支援フォーラムでも取り上げてみなさんと勉強したい内容でしたので、本日はよかったです。両立支援指導料の算定も改定されて、算定しやすくなっておりますので、せっかく相談を受けるのでしたら算定が取れる取り組みもしていただければと思いますのでその際にも産保センターを利用させていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

#### 4. その他

施設からの近況報告

- ・今年度ハローワーク出張就職相談を開始予定施設)

松山市民病院、住友別子病院、愛媛労災病院での予定について

(松山市民病院) 発言なし

(愛媛労災病院) 欠席

(住友別子病院 和田委員)

7月30日から開始予定で、週1回ハローワークから来てもらう予定で、実務者レベルで調整中です。少しでも就職に繋がったり、就労が継続できるように支援したいと思います。来年3月の出張相談については、新居浜市と共催で大きなイベントを計画中で、現時点では、前日に新居浜市のイベントが一つ予定されているため、出張相談会も開催できる見込みです。

(愛媛県立中央病院 季羽委員)

産保センターの福田さんにも来ていただき院内で産保センターの両立支援促進員(社会保険労務士)出張窓口を設置する方向で動いています。院内のワーキングで、検討中で、患者さんから希望があった際に予約制で来ていただく予定です。

(事務局 藤岡氏)

議事録作成後、メール配信しますのでご確認頂ければと思います。

(灘野部会長)

本日は、お陰様でスムーズに開催することができました有難うございました。

また、何かありましたらご連絡下さい。

中もお伝えしましたが、また警報が出ましたら、ML でまた投げかけることもあると思いますのでどうぞよろしく願いいたします。

議事録担当：四国がんセンター（次回は愛媛労災病院）

# がん登録専門部会から 令和二年愛媛県がん診療連携協議会 専門部会報告会

寺本典弘  
がん登録専門部会長  
四国がんセンター



1

## がん登録専門部会活動

コロナ禍で大きな制限を受けた

3月27日	院内がん登録実務者研修会 担当：愛媛大学	} 中止
5月	院内がん登録実務者研修会 担当：住友別子	
6月4日	日本がん登録協議会学術集会 松山赤十字病院からの愛媛県の研修会 報告を含むシンポジウム	} On the web
6月26日	がん登録専門部会の研修会などに関する意見交換	
7月21日	令和2年第一回がん登録専門部会	} 中止
9月	全国がん登録研修会	

2

## 対策

- 専門部会はweb開催
- 打ち合わせが必要なもの、『研修会のやり方』などは事前にWeb会議
- 資料はなるべく事前配布する

### 愛媛県がん診療連携協議会 令和2年度第1回がん登録専門部会 議事録

日時：2020年7月21日（火） 13：30～14：30<sup>←</sup>

開催方法：web 開催<sup>←</sup>

進行：寺本（四国がんセンター） 議事録：加藤久美子（松山市民病院）

反省点としては、やはり十分にicebreakの時間をとらないとなれない人にはしゃべりにくい

3

## 専門部会内容

### コロナ禍によるがん登録データの提出期限・試験日程等の変更の周知

#### 院内がん登録提出期限（全国集計）0年

がん診療連携拠点病院：8月11日～10月16日

- 愛媛県推進病院：8月11日～11月13日
  - 2020年度の愛媛県における全国がん登録の提出期限は拠点推進とも10月16日目度
  - 院内がん登録全国集計と同じデータを愛媛県院内がん登録集計に提出

#### 2008年/2013年/2015年予後情報付きデータ

- 全施設8月17日～9月4日

#### QI研究

- 未定

#### 実務者士資格認定試験・更新試験・認定研修

- 全てweb化

4

## コロナ禍の研修会

- 恒例の五大がん登録講座
  - Web開催を検討中
- 座談会
  - Web開催を検討中
- ムードル利用
  - 過去間充実中
- とともにe-learningをする会
- ML活用 など検討中

5

## 『施設プロフィールシート（仮）』作成

**所属施設の院内がん登録実施状況の概略を把握する義務がある。**

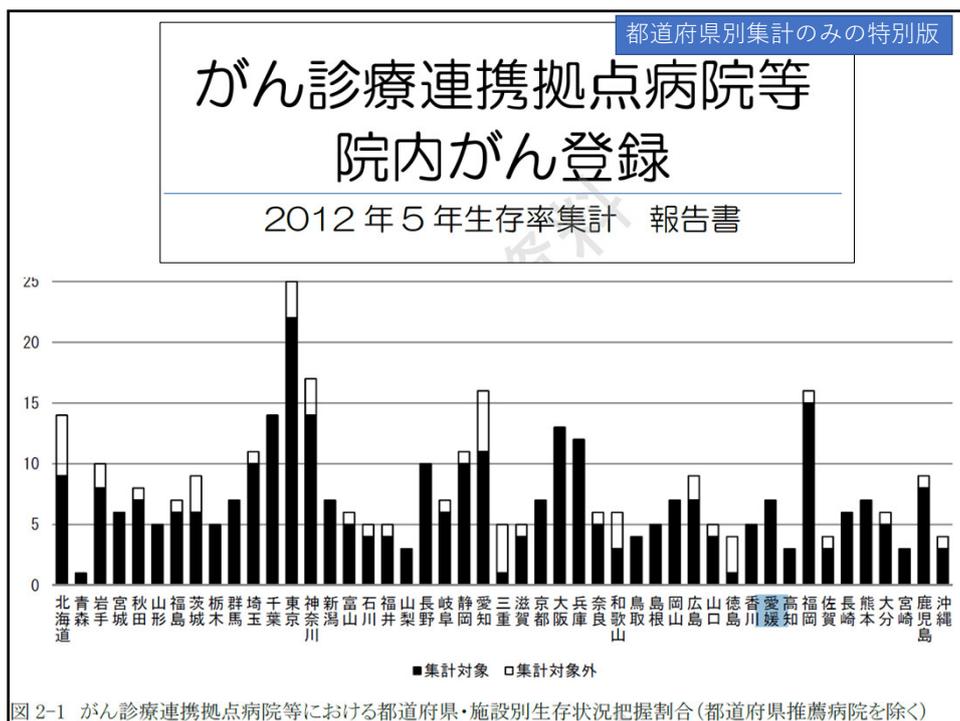
- 施設の実務担当者、MLなどのメンバー管理・情報共有・研修
- 専門部会のメンバーや役割等が見えるように
  - 毎年4月から5月に各施設で記載し、事務局へ提出
- サマリー・問題点を総会・幹事会に報告
- 人員不足などの指摘にも

!県がん登録専門部会 施設プロフィールシート（仮）

施設名：四国がんセンター（例）

する立場の人	寺本典弘（病理科医長）		
	15	名	
	院内がん登録中級認定者	5	名
	院内がん登録初級認定者	5	名
	未受講者	5	名
れる医師	有無を選択↓	「あり」の場合、氏名（診療科）を	
	あり	濱田医師（感染症）、山下医師（臨床医 ター）、大亀医師（婦人科）	
	MIL、HosCanR（電子カルテ：SSI）		
法	全入院・外来患者対象		
	国立がん研究センター予後調査支援事業 選択→		

6



7

## がん登録で見る愛媛県のがん診療2020

4月刊行済み  
全県版も間もなく協議会HP  
に公開予定

来年版に向け、内容検討予定  
ご意見募集中

がん登録で見る愛媛県のがん診療2020  
施設別集計  
(院内がん登録2018年診療値より)

愛媛県がん診療連携協議会 がん登録専門部会

8

## がん登録専門部会のPDCA

施設番号	院内がん登録委員会 あるいは関連機関名	委員会名	規定	目的の明記	名簿有無	院長・副院長 or幹部を委員 長			開催日の 規定	所掌事項の記載	実施事項1：がん登録業務に関する現状				
						人員 構成の 明記・各職 種	人員	登録数			解析 率	利用 状況	その他		
1	四国がんセンター	院内がん登録委員会規定	あり	あり	あり	あり	副院長	あり	年2回	あり	あり	あり	あり	あり	あり
2				規定なし											
3				規定なし											
4		院内がん登録の実施のための 体制・組織体制(院内 がん登録委員会)	あり	なし		あり	副院長	不明	年4回	あり	不明	あり	あり	あり	あり
5				規定なし											

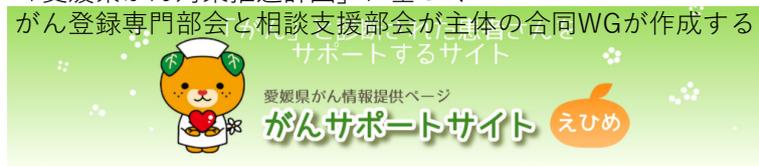
第一ターゲットは院内がん登録用規定

10月or11月に院内がん登録規定作成大会  
要：各病院におけるサポート

9

## 『がんサポートサイト愛媛』概略

- 愛媛県がん診療連携協議会が愛媛県より受託したがん情報サイト
- 「愛媛県がん対策推進計画」に基づく
- がん登録専門部会と相談支援部会が主体の合同WGが作成するサポートするサイト



初めの方へ・このサイトについて

部位別目次 病院別目次

<p>乳房</p> <p>病気を 知る</p> <p>病院を 探す</p>	<p>胃</p> <p>病気を 知る</p> <p>病院を 探す</p>	<p>大腸 (作成中)</p> <p>病気を 知る</p> <p>病院を 探す</p>
<p>肺</p> <p>病気を 知る</p> <p>病院を 探す</p>	<p>肝臓</p> <p>病気を 知る</p> <p>病院を 探す</p>	<p>原発不明がん</p> <p>病気を 知る</p> <p>病院を 探す</p>

愛媛県内がんサロン開催予定表 (外部サイトにリンクします)

リンク

サイトマップ

クレジット・免責事項

県より公式に受託しているが、『公式』を押すと作成が面倒になる

10

## 令和2年8月7日現在

### 1. データ更新

- 2019年施設データ（病院を探す）→公開済み
- 院内がん登録データ 2018年（今夏更新予定）
- 子宮頸癌データ収集開始予定（今月）

### 2. 臓器充実 Upcoming

- 子宮頸部(愛大・coming soon!)、膵臓（日赤・依頼済み） 前立腺（愛大・依頼済み）、東予募集中!

### 3. 内容検討

- 病気を知る：臓器担当施設にお願いする予定
- あなたを支える：作成担当者をお願いする
- コロナ情報



### Access

2019/11  
2197



2020/07  
1024

愛媛県連携協議会テレビ会議  
2020/08/08@松山

## 「がんの集学的治療専門部会」活動報告

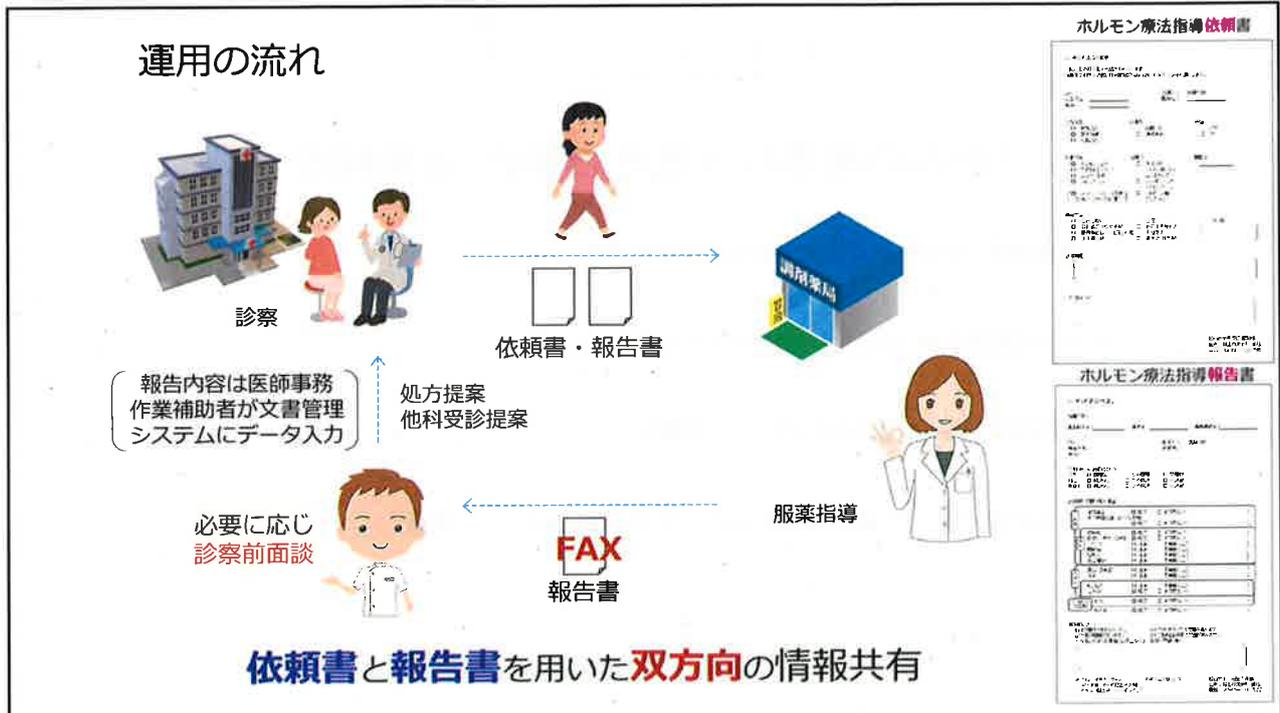
1. 薬薬連携、愛媛県がん診療連携協議会後援会議
2. ゲノム情報を用いたスクリーニングシステム
3. HD曝露対策、CSTDによるコアリングの調査
5. がん就労支援、AYA世代対応ネットワーク・妊孕性ネットワーク構築

1

## 薬薬連携の継続的発展

- 10年前に実態調査、今回再調査により状況の把握
- 薬薬連携システムの構築
- 教育、情報共有の推進：2020年5月に薬薬連携セミナー

2



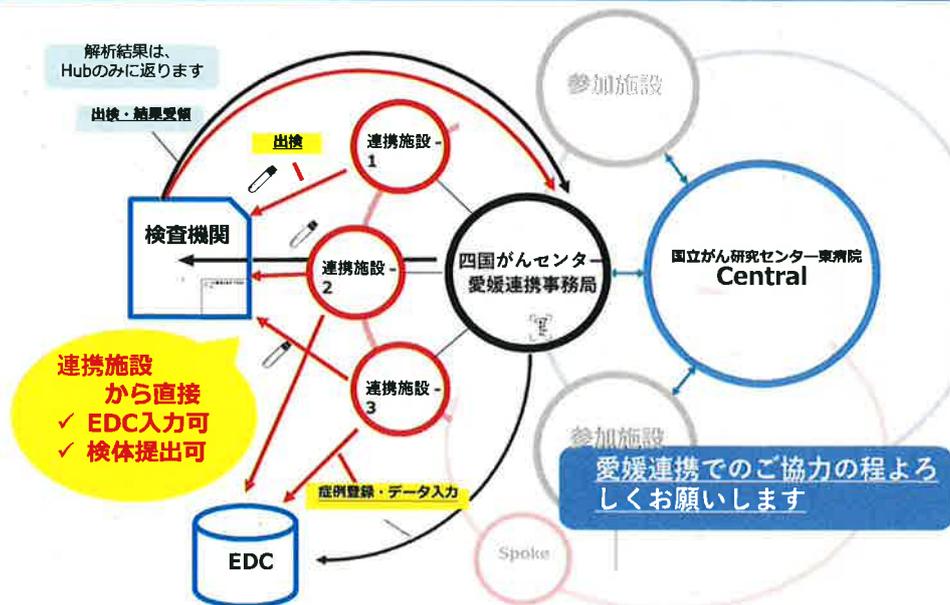
3

## SCRUM JAPAN 愛媛連携

- SCRUM JAPANの現状  
がん遺伝子パネル検査（組織）の保険承認に伴い、  
リキッドバイオプシー（血液）によるスクリーニングを開始
- がん腫問わず、保険のパネル検査で変異がある症例を対象に  
リキッドバイオプシー研究に参加可能。
- FGFR遺伝子異常、HER2遺伝子異常、TMB-H、MET遺伝子異常の  
医師主導治験が進行中。
- 連携プロトコールが2019年12月に中央事務局で承認。  
四国がんセンターでのプロトコール倫理審査準備中。  
今後、愛媛の連携病院に相談。  
(2020年2-3月頃)

4

## SCRUM Japan Hub&Spokeについて



5

## 多施設共同抗がん薬曝露実態調査の展開

- 各施設において初回に比し2回目の調査において抗がん薬曝露実態の改善（閉鎖式薬物移送システム、個人防護具の導入等）が見られた。また各施設の曝露対策チームは、各病院の医療スタッフに対し抗がん薬曝露に関する情報提供を開始した
- 施設管理者にも曝露調査結果を示し、対策の実施に対する管理者側の理解も求めた。それと共に院内の抗がん薬曝露について、現状の認識を促すために情報開示した。
- 病棟における曝露調査も含めて3回目の調査を2019年秋に行った。継続的な曝露モニタリングに基づく対策確立を進めていく予定。

6



## 愛媛県AYA世代対応NW・妊孕性NWの 今後の展開

・ 県全体のシステム構築、情報共有、経験値の向上、  
対応のブラッシュアップ(研鑽)、対応部署やできる事の明確化、  
医療依頼のアクセス簡便化、  
がんサバイバーシップ保持への援助

### ・ 課題克服

(AYA:就労支援、長期フォローアップ、妊孕性:より確実な方法)

### ・ 患者さんへの情報公開 & アピール

9

つなごう!  
AYAの医療と  
支援の輪

第2回  
**AYAがんの医療と  
支援のあり方研究会  
学術集会**

2020  
**3.20**(金・祝)・**21**(土)  
名古屋国際会議場 白鳥ホール

www.aya-ken.jp

特定非営利活動法人日本がん・生殖医療学会

がん治療と妊娠

設立の経緯

http://www.j-sfp.org/about/index.html

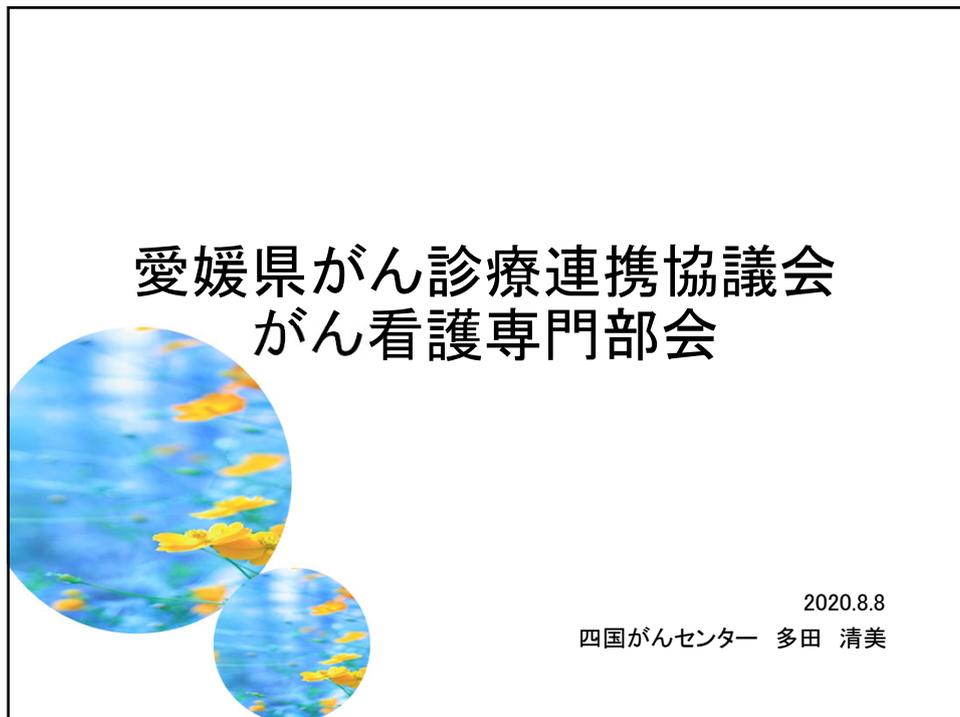
10

## 放射線科紹介システムの構築

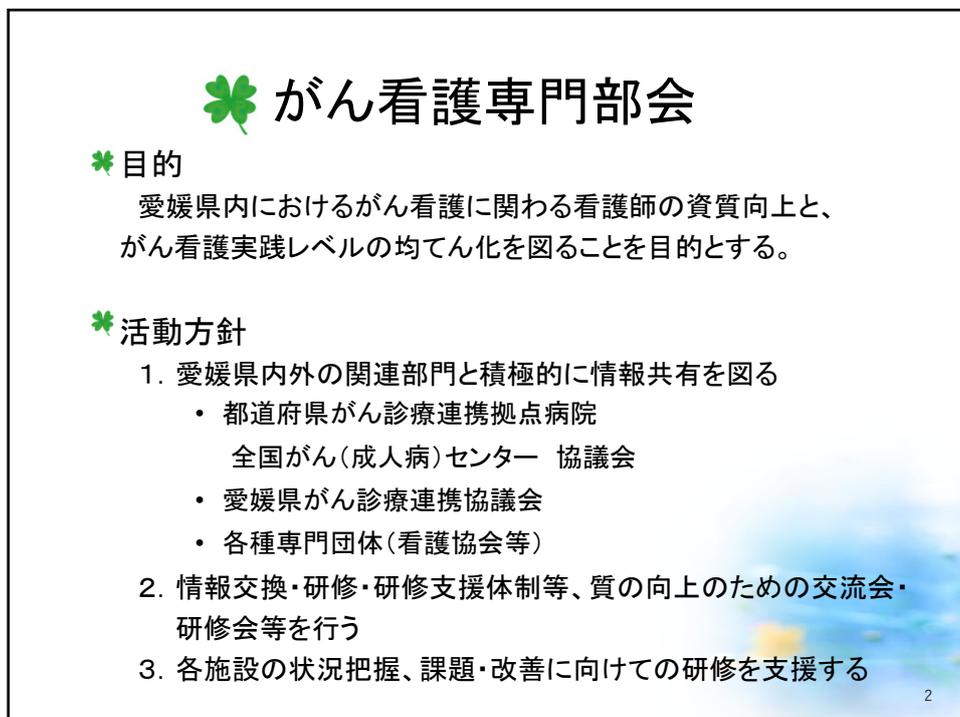
- 放射線の診断、治療を地域で気軽に、もしくはスムーズに紹介できるシステムはできないものか。
- Quality?

11

11



1



2

## がん看護専門部会

### 部会員

- ・地域拠点病院・推進病院の看護管理者
- ・がん看護に関係した専門看護師、認定看護師
- ・教育担当者等
- ・その他(愛媛県、愛媛県看護協会等)  
(がん看護に携わる者)

3

3

## がん看護専門部会による研修

目的:がん看護実践の質向上を促進すること

対象:愛媛県内の医療介護福祉領域の看護職を対象とする

内容:

1. がん看護実践能力向上を目指した研修
2. トピックス研修  
愛媛県で強化すべき事案および国立がんセンター等が  
開催する指導企画研修の内容を参考に決定
3. スポット研修  
(愛媛県内の病院、診療所、施設等からの依頼による研修)

4

4

# 令和元年度研修報告

## 研修

研修名	開催日	参加者
がん看護実践能力向上研修会	2019.8.22-10.1	修了者 5名 聴講者延314名

## トピックス研修

研修名	開催日	参加者
がんゲノム医療とがんの遺伝	2020.1.18	70名
がん化学療法の副作用対策とセルフケア支援	2020.2.1	中止
ターミナル期の口腔ケア～誤嚥性肺炎を予防する口腔ケア～	2020.2.1	中止

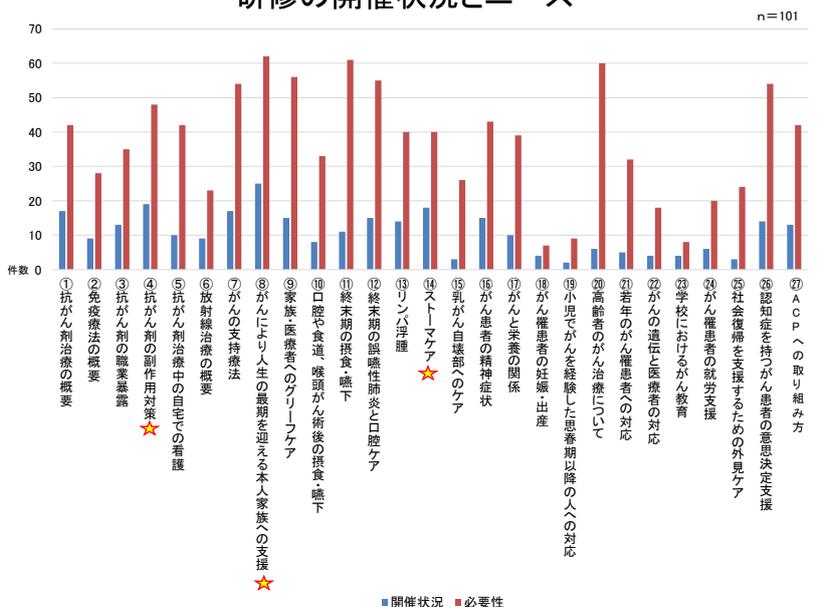
## スポット研修

研修名	依頼施設	開催日	参加者
コミュニケーション	市立宇和島病院	2019.11.23	16名

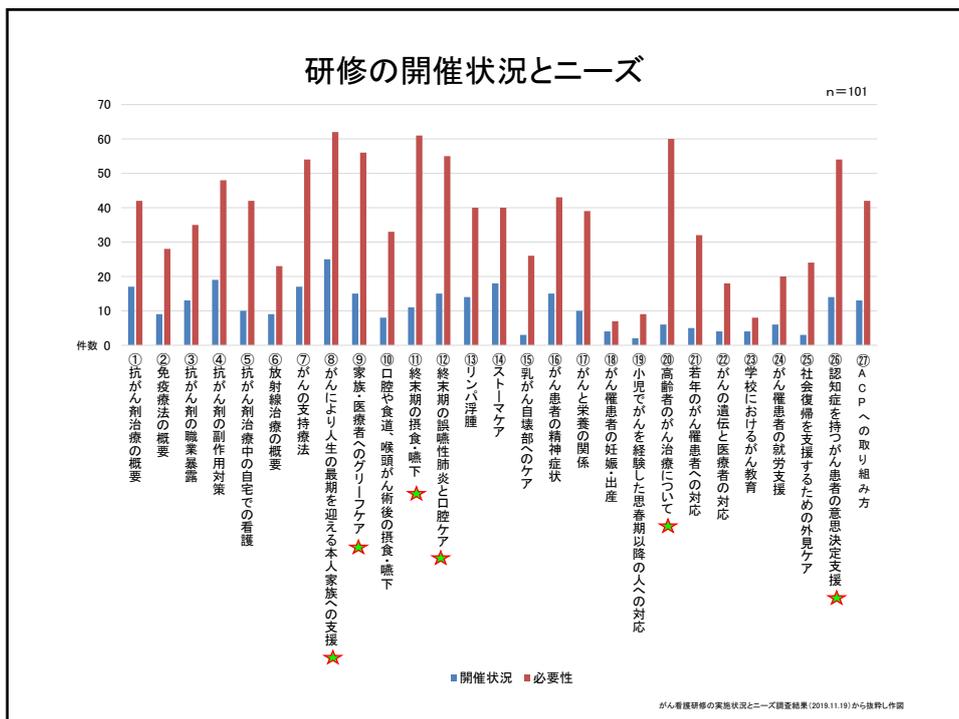
5

5

## 研修の開催状況とニーズ



6



7

### 研修予定

内容	2016	2017	2018	2019	2020	2021
がん看護実践能力向上研修 (愛媛県がん看護実戦に強い看護師育成研修会)	H28年度愛媛県がん看護実践に強い看護師育成研修会(2016年で終了)	がん看護実践能力向上研修会(がん看護専門部会支援)			✕	
トピックス研修 (愛媛県で強化すべき事業および国立がん研究センター等が開催する指導者企画研修の内容を参考に決定)	がん看護せん妄ケア	コミュニケーション		がんゲノム 副作用 ✕ 口腔ケア ✕	高齢者のがん治療 意思決定 口腔ケア	
スポット研修 (各病院の要望に応じた研修) (開催場所は要望に応じて変更する)				コミュニケーション		

8

## 令和2年度活動予定

専門部会：年2回の定例会（9月・1月）

### 研修

研修名	開催日	募集人数
がん看護実践能力向上研修会	2020.8.20(開講式) -10.8(閉講式)	研修生 14名 聴講可能

中止

### トピックス研修

研修名	開催日	参加者
高齢者のがん治療と看護	未定	50名
認知症を持つがん患者の意思決定	”	50名
ターミナル期の口腔ケア ～誤嚥性肺炎を予防するために～	2020.10.10 WEB研修	100名

中止

中止

### スポット研修

研修名	依頼施設	開催日	参加者
未定			

9

## トピックス研修ご案内

日時：2020年10月10日（土）  
目的：感染予防上必要な対応をし、  
ターミナル期における誤嚥性肺炎  
を予防するための口腔ケアの  
基礎を理解する  
対象：県内の在宅ケアを実践している  
看護師  
定員：100名程度  
内容：WEB研修（ZOOM）  
（1）講義  
（2）動画  
（3）質疑応答  
講師：摂食・嚥下障害看護認定看護師  
申し込み：愛媛県がん診療連携協議会  
HP・四国がんセンターHP

愛媛県がん診療連携協議会がん看護専門部会 主催

### WEB研修ターミナル期の口腔ケア ～誤嚥性肺炎を予防するために～

令和2年 **10月10日（土）**  
**10:00～11:00**

終末期には食事摂取が誤嚥のリスクに繋がることが多く、  
嚥下を控えながらかわっていませんか？  
終末期の摂食嚥下と誤嚥性肺炎の予防につなげるため  
日々実践している口腔ケアを振り返ってみましょう！

**内 容**：終末期の誤嚥性肺炎予防のための口腔ケア  
～講義と演習～

**対 象**：愛媛県内で働くあるいは、住んでいる看護師および介護職

**定 員**：100名程度

**方 法**：WEB

**参加費**：無料

**申込み**：QRコードまたはメールで、お申込みください。

**申込み締切**：令和2年9月30日（水）

本研修は、ZOOMを用いたWEB研修です。研修方法の詳細は、申し込み後にご連絡します。  
個別にはLINEやメールでの対応はできません。  
Zoomアプリの第三者への転送はお控えください。

問合せ・申込み

愛媛県がん診療連携協議会 がん看護専門部会  
 （研修担当：四国がんセンター 吉田）  
 TEL：089-999-1111（代表）  
 FAX：089-999-1210  
 Eメール：j19-mit@nppc-kenkyu@mail.hosp.go.jp

10

## 第1回 がん看護専門部会

日時: 令和2年9月29日(火) 14時00分～15時00分

場所: 四国がんセンター

地域医療連携センター3階研修室③

内容: 1. 令和2年度研修について  
2. 役員会報告  
3. その他